



NEW

自分でできる
わが家のお手入れ



4000
2022.10-5000-05

積水化学工業株式会社
住宅カンパニー

●ご相談・お問い合わせは—

わが家をより長持ちさせるために。

住まいには、プロによる定期的な点検やメンテナンスももちろん必要です。でも、何より大切なのはお住まいの方のふだんのお手入れ。そこで、住まいの部位ごとに、そして素材別に、もっとも適したお手入れ法と自分でできる補修法をイラスト入りでまとめました。この冊子を参考に、まず自分でできることから始めてみましょう。



本誌は、暮らしと住まいの情報誌「ハーモネット」に掲載のお手入れ情報をまとめた「自分でできるわが家のお手入れ」の改訂版です。従来の冊子に情報を追加し、さらに読みやすく整理しました。お手元の「お手入れ読本」ともにご活用ください。

住まいのメンテナンスカレンダー

部位ごとに、自分でできるお手入れや点検、そして取り替え(塗り替え)の目安を一覧表にしました。メンテナンスのタイミングを心得ておきましょう。

	部位・部品	お手入れ・点検の目安	取り替え・塗り替えの目安
玄関	木製ドア	週1回からぶき、月2回ワックスかけ	4~5年で塗り替え、10年程度で取り替え
	金属製ドア	汚れたら水洗い、月1回ワックスかけ	8~12年で塗り替え
	ポーチ	年2回キズ・サビを点検	8~12年で塗り替え
洋室・階段	フローリング	2~3ヶ月、少なくとも半年に1回ワックスかけ	不具合部を張り替え
	ソフトフロア	月1回ワックスかけ	//
	カーペット	汚れたらクリーニング	6~10年で張り替え
	壁クロス	年1回、できれば季節に1回水ぶき	6~10年で張り替え
和室	畳	汚れたら固絞りの雑巾で水ぶき	2~4年で裏返し、5~8年で取り替え
	ふすま	週1回ハタキかけ	5~7年で張り替え
障子	障子	週1回ハタキかけ	1~3年で張り替え
室内建具	ドアパネル	週1回からぶき、月1~2回クリーナー	不具合が出たら取り替え
	ドアノブ	年1~2回可動部に潤滑剤を差す	6~10年で取り替え
勝手口ドア	金属製ドア	月1回蝶番・ストッパーを点検	8~12年で塗り替え
キッチン	ガスレンジ	使用のつど掃除・点検	1~2年で電池交換、8~10年で本体取り替え
	換気扇・レンジフードファン	月1回部品をはずして掃除	8~10年で取り替え
	排水口	週1回部品をはずして掃除	
浴室	バスユニット	使用のつど掃除	15~20年で取り替え
	給湯器・温水器	月1回室外機も含めて点検	8~10年で取り替え
トイレ・洗面	便器	使用のつど掃除	
	洗面台	//	
窓	サッシ・ガラス	週1回ハタキかけ、月1回お湯ぶき	
	戸車・クレセント	年1~2回可動部に潤滑剤を差す	6~10年で取り替え
網戸	網	週1回ハタキかけ、夏前にはずして洗う	6~10年で張り替え
	戸車	年1~2回可動部に潤滑剤を差す	6~10年で取り替え
雨戸・シャッター	雨戸	年1~2回水洗いとワックスかけ	
	戸車	年1~2回可動部に潤滑剤を差す	6~10年で取り替え
カーテン・ブラインド	カーテン	年1回(レースは半年に1回)洗濯	
	ブラインド	月1回水ぶき	不具合が出たら取り替え
照明	カバー	月1回洗剤ぶき	
	ランプ	月1回からぶき	白熱灯は切れたら交換 蛍光灯はチラつき、黒ずみが出たら取り替え
外まわり	外壁	年2回水洗い、キズ・カビもチェック	※
	バルコニー手すり	年2回キズ・カビをチェック	8~12年で塗り替え
	バルコニー床	月1回床を掃除	8~10年で張り替え
	浄化槽	維持管理契約に基づき、専門の業者が定期点検	機械部分は7~10年で取り替え

※外壁や屋根の塗り替え時期は、住宅タイプによっても大きく異なります。お手元の「お手入れ読本」をご覧ください。
 ※ここに記載した「取り替え」や「塗り替え」の時期は、あくまで目安です。建築時期や立地条件により、最適の時期が異なる場合があります。
 ※設備類についても、使用頻度やお手入れ状況などで「取り替え」の時期が異なる場合があります。
 ※このカレンダーに記載されていない部位・設備については、お手元の「お手入れ読本」[取扱説明書]をご参照ください。

目次

玄関	2
洋室・階段	4
和室	6
障子	8
室内建具	10
勝手口ドア	13
キッチン	14
浴室	18
トイレ・洗面	20
窓	22
網戸	24
雨戸・シャッター	26
カーテン・ブラインド	28
照明	30
外まわり	32
お手入れ相談室	34

玄関

隅々までお手入れのゆき届いた玄関は、家族にも、お客さまにも気持ちのよいものです。それでも年月が経つと、汚れや傷みがちらほら。そんなときの補修の仕方も心得ておきましょう。



ここをチェック！

- ドアの外側や下部が泥やホコリで汚れていないか。
- ドアの取っ手まわりに手ア力がついていないか。
- ドアチェッカー(クローザー)に異常はないか。
- ドアの開閉、鍵の開け閉めに難がないか。
- ドア表面にキズがないか。
- 木製ドアの塗装がはげていないか。
- たたきに泥汚れはないか。
- 巾木や上がりかまちにキズがないか。
- 玄関収納の扉などに汚れや傷みがないか。

ふだんのお手入れ

ドア

玄関ドアには、木製と金属製の2タイプがあります。金属製ドアは表面が丈夫にできているのでお手入れも簡単です。ホコリや泥はねがついたら、水をかけながらやわらかい布で洗い流してください。

一方、木製ドアは水や直射日光に弱いので、きちんとしたお手入れが必要。週に一度はやわらかい布でからぶきをしましょう。泥はねなどは、気がついたらすぐ落とします。

木製ドアのワックスかけ

できれば月2回、ホコリや泥を落とした後に玄関ドア用のワックスをかけましょう。ドア表面に膜をつくって汚

れをつきにくくし、塗装のひび割れなども防いでドアを長持ちさせます。ドア下部はとくに傷みやすい部分なので、念入りにワックスを塗っておきましょう。

たたきとポーチ

たたきに水をまくと、カビやタイルはがれ、白アリ発生の原因になります。汚れは、水を絞った雑巾やモップでふき取りましょう。

石床専用の樹脂ワックスを塗っておくと、ツヤがよみがえり、汚れもつきにくくなります。

屋外のポーチは水を流し、泥などのこびりつきをデッキブラシやタワシでこすり落とすようにしてください。

ドアの不具合調整

メンテナンスは早めに

「開閉時に「キーキー」音がする」

ドアの開閉時「キーキー」音がしたり、固くて開きにくい場合は、蝶番の心棒にシリコン系潤滑剤を差します。支障がなくても半年に1回程度、定期的に行うとよいでしょう。



ドア(木製)につかないように注意しながら潤滑剤を差す。

「ドアの開まりが悪い」

ラッチボルトの収まりが悪く、ドアがきちんと閉まらないときは、ラッチボルトにシリコン系潤滑剤を差すと、スムーズに収まります。潤滑剤の代わりに鉛筆の芯をこすりつける方法もあります。



2B~4Bぐらいのやわらかい鉛筆をこすりつける。

「鍵の回りが悪い」

鍵がスムーズに回らないときは、鍵穴に潤滑剤を差します。潤滑剤がなければ、鍵の凹凸部分に鉛筆の芯をこすりつけます。

ドアのキズ補修

木製ドア

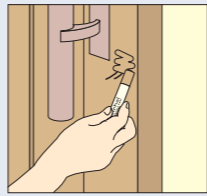
●小さなキズは... 木製ドアのひっかきキズは、市販のクレヨンタイプの補修剤(*)で直せます。

①ドアと同じ色の補修剤を、キズと交差するように塗り込む。

②ヘラで余分な補修剤をそぎ取る。

③最後に透明のラッカーかマニキュアを塗って補修面を保護する。

キズに塗るだけの筆ペンタイプの補修剤もあります。塗ってみて色が薄い場合は、乾いてから重ね塗りします。



ジグザグに塗るようになると、キズの中に補修剤がびったり塗り込まれる。

●大きなキズ、へこみに...

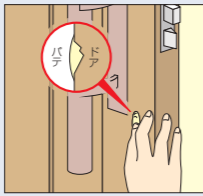
ぶついたりしてできた深いキズもパテと塗料を使って直せます。

①ぬらした指先でウッドパテをこねながら、へこんだキズに埋め込む。

②乾いて固くなった後、サンドペーパーでドア面と平らになるようにこする。

③同色のパウダースティンを塗る。

溶かして色を調合できる、便利な木部用充填剤(*)も市販されています。



パテは少し盛り上げるくらいに塗り込み、乾いたら平らに削り取る。

金属製ドア

●サビが出たら...

金属製ドアにキズがついたり、サビが発生した場合は、サンドペーパーでサビを落とし、水性塗料を塗っておきます。8~12年経ったら、ドア全体を塗り替えましょう。



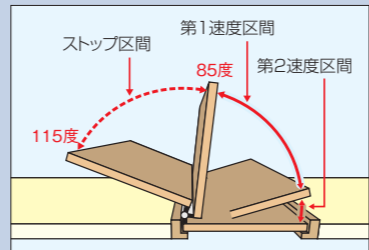
サンドペーパーでこするときは、周囲を傷つけないよう注意。

ドアチェッカーの調整

●ドアチェッカーのしくみ

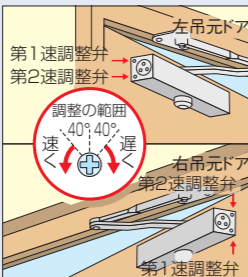
ドアチェッカー(ドアクローザー)はドアを静かに安全に閉めるための装置。2段階のスピードで閉まる玄関ドアでは、閉まる手前15度くらいまでのところを第1速度区間、そこからドアが閉まるところまでを第2速度区間といえます。

(※'96年4月以降に取り付けられたドアチェッカーには第3速度区間があります。基本的には不要です)



角型(旧タイプ)

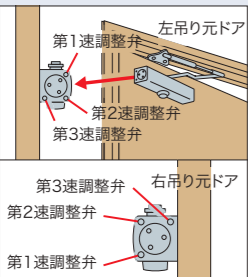
左吊り元ドア(屋内から見て蝶番が左側にあるドア)は第1速が上の調整弁、第2速が下の調整弁です。



調整の範囲は40°遅く、40°速く。

角型(新タイプ)

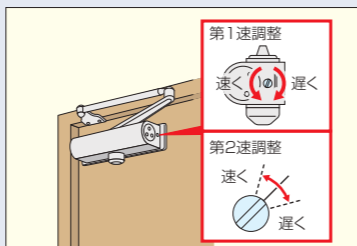
同じ角型ですが、こちらのタイプは第3速まで調整弁があります。左吊り元ドアは第1速が上の調整弁、右吊り元ドアは第3速が下の調整弁です。



右吊り元ドアは第3速が下の調整弁、第2速調整弁、第1速調整弁。

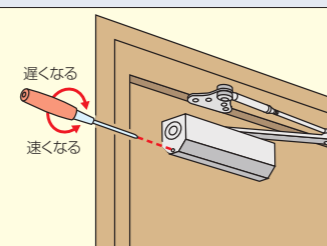
丸型

第1速、第2速とも一つの調整弁で調整します。第1速はマイナスイラストドライバーでネジを右に回すと遅くなり、左に回すと速くなります。第2速の調整は第1速の調整後、速度調整弁のネジの角度(わずかに動かすだけでかなり速度が変わる)で調整します。



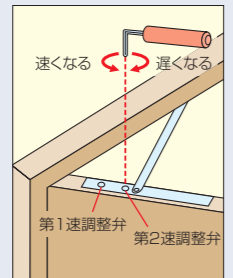
ハイドア

ドアチェッカー本体のスライドカバーをはずすと調整弁があります。丸型と同様に、一つの調整弁で第1速、第2速とも調整します。慎重に、少しずつ速度の様子を見ながら調整をしましょう。



鋼製アール

ドアのつけ根に近いところが第1速、遠いところが第2速の調整弁です。マイナスイラストドライバーで調整します。



注意しましょう

ドアの開閉速度は微妙ですから、ネジは少しずつ、様子を見ながら回して調整しましょう。ドアチェッカーは油圧で作動するので、気温によりスピードが変わってきます。夏場はスピードがやや速くなり、冬場はやや遅くなります。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

洋室階段

フローリングや壁クロスは汚れやキズが気になるところ。また、階段は家庭内の事故が起りやすい場所です。正しい方法でお手入れし、さらに安全への配慮もおきましょう。



ここをチェック!

- コーナーにホコリがたまっていないか。
- 床のツヤがなくなり、白っぽくなっていないか。
- 床や手すりにキズがないか。
- 階段がすべりやすくないか。
- すべり止めが付いている場合、はがれやめくれがないか。
- 階段にきしみ音がないか。
- 手すりにぐらつきはないか。
- 壁が手アカなどで汚れていないか。
- 壁クロスの継ぎ目にはがれがないか。

ふだんのお手入れ

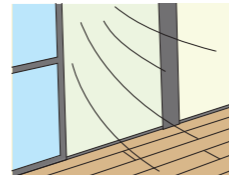
床(フローリング)

フローリングは、ふだんは掃除機やモップなどでごみやホコリなどを取り除きます。階段隅は、掃除機の細口ノズルや、ブラシつきノズルを使用すると便利です。階段掃除には、軽い小型のハンディタイプの掃除機を使うと上り下りがらくにできます。

フローリングは水気を嫌うので、ぬれ雑巾は使わず、乾いた布でからぶきしてください。

【ワックスがけの手順】

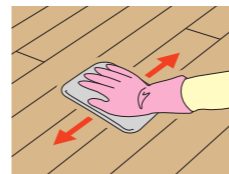
① ワックスを塗る前に、床用クリーナーか住まいの洗剤で汚れを落とす。



② 汚れを落としたり、窓を開け風通しをよくして、床を乾燥させる。



③ フローリング用ワックスを、乾いた布またはモップに含ませる。



④ 部屋の奥から出口方向に向かい、板目に沿って塗り広げる。

ワックスは定期的に

少なくとも3〜6ヶ月に一度ワックスがけをしておくことで、汚れやキズがつきにくくなります。乾きが遅いと、乾くまでにホコリがつくので、晴天の日、風通しをよくして行いましょう。

① ハイム標準品のフローリングには、必ずフローリング用樹脂系ワックスをご使用ください。リフォーム等でハイム標準品以外のフローリングを敷設された場合は、当該フローリングの注意事項をご参照ください。標準品かどうか

手すり

木製の階段や廊下の手すり・手すりの棒は、乾いた布でからぶきします。

壁

壁クロスは、上の方からハタキなどでホコリを払い落とします。ポリバタキは使う前に2〜3回振って静電気を

か不明な場合は、施工を担当したファミエスまでお問い合わせください。
② 「DXオーク」という無垢フローリングは、樹脂系ワックスを使うと白化の恐れがあるため、お手元の「お手入れ読本」で指定されたワックスをご使用ください。
③ 抗菌フローリングには、必ず抗菌ワックスをご使用ください。

汚れの落とし方

【鉛筆・クレヨンなど】

いたずら書きや手アカの黒ずみは消しゴムで落とせます。クロスは傷めないよう少しずつついでにこすりましょう。

【サインペンなどの水性インク】

消毒用アルコールまたは水で薄めた中性洗剤をコットンかやわらかい布に含ませ、やさしく汚れをふき取ります。先に目立たないところでテストしてから、汚れたところを拭くようにしてください。

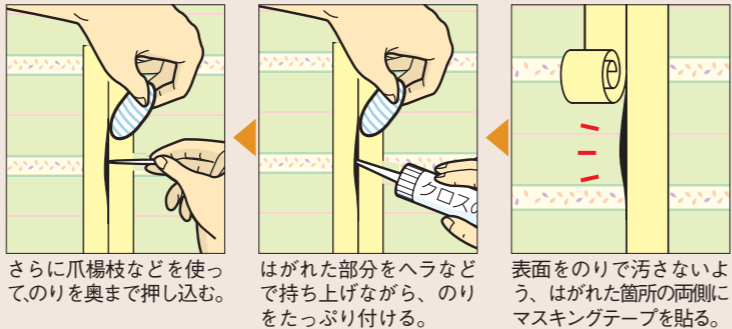
壁・床の補修

壁クロスのはがれ・汚れ

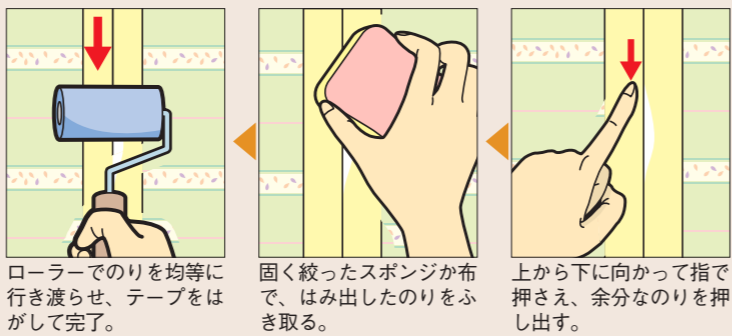
●クロスがはがれたら

壁クロスの継ぎ目がはがれたときは、クロス専用ののり、または昔ながらのどんぶんのりで貼りつけます。強力な接着剤を使うと、クロスがごわごわになったり、張り替え時にきれいなはがせにくくなったりします。

クロスがはがれないように、ぴったりきれいに仕上げるコツは、ローラーをかけること。余分なりや空気が外に押し出され、ぴったり貼ることができず、ローラーがない場合は、梱包用のガムテープなどで代用できます。



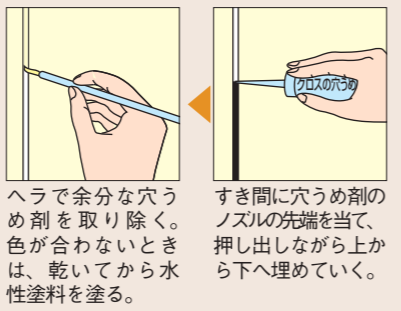
さらに爪楊枝などを使って、のりを奥まで押し込む。はがれた部分をヘラなどで持ち上げながら、のりをたっぷり付ける。表面をのりで汚さないよう、はがれた箇所の両側にマスキングテープを貼る。



ローラーでのりを均等に行き渡らせ、テープをはがして完了。固く絞ったスポンジか布で、はみ出したのりをふき取る。上から下に向かって指で押さえ、余分なりを押し出す。

●継ぎ目のすき間は

クロスの継ぎ目にすき間ができてしまったら、ペースト状の補修剤を埋め込みます。クロスの色に近い補修剤を選び、チューブから押し出しながら、すき間を埋めていきます。

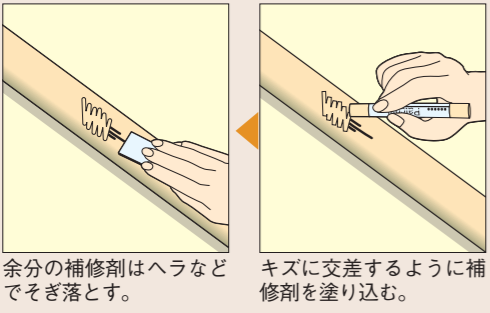


ヘラで余分な穴うめ剤を取り除く。色が合わないときは、乾いてから水性塗料を塗る。すき間に穴うめ剤のノズルの先端を当て、押し出しながら上から下へ埋めていく。

床・手すりのキズ

●小さなキズがいたら

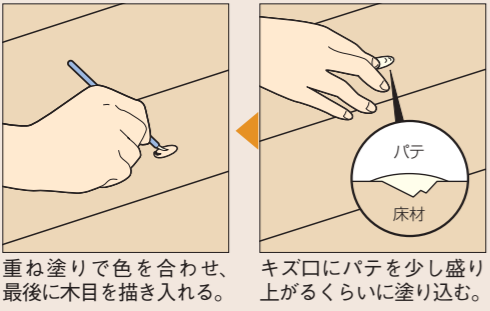
床や手すりのひっかきキズは、市販のクレヨンタイプの補修剤(※)で直せます。
① 床または手すりと同じ色の補修剤を用意する。
② キズと交差するようにして、クレヨンをジグザグに塗り込む。
③ ヘラやプラスチック板で余分の補修剤をそぎ落とし、キズの周囲を布でふく。



余分の補修剤はヘラなどでそぎ落とす。キズに交差するように補修剤を塗り込む。

●深いキズやへこみには

ウッドパテを塗り込みます。
① キズ口、指またはヘラでウッドパテ(木部の充填剤)をたっぷり塗り込む。
② 30分ほどして乾いたら、カッターナイフでパテを床と平らになるようにカットする。
③ オイルステインまたはウレタンニス塗料を塗って仕上げる。溶かして色を調合できる、便利な木部用充填剤(※)も市販されています。



パテ 床材
重ね塗りして色を合わせ、最後に木目を描き入れる。キズ口にパテを少し盛り上げるくらいに塗り込む。

階段の安全対策

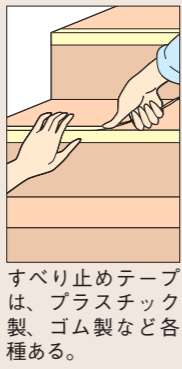
階段は家の中でも事故の多いところ。ちょっとした注意や工夫で事故を防ぐことができます。

●油性ワックスは使わない

掃除のとき、すべりやすい油性のワックスは絶対使わないこと。必ず樹脂系のもので使しましょう。

●すべり止めをつける

市販のすべり止めテープをステップのふちに貼りつけます。また、すでにすべり止めがついている場合、はがれやめくれがあると、逆に足をひっかけやすく危険です。確認の上、必要があれば直しておきましょう。



●手すりのぐらつきはすぐ直す

階段の手すりは事故防止のためのもの。その手すりがぐらついていては危険です。完全に修理する必要がありますから、早急にファミエスにご連絡ください。

●きしみを直す

階段を上り下りする際、きしみ音があることがあります。木が乾燥してすき間ができた、木が痩せてきたためです。音がする場合は、ファミエスにご相談ください。

*印の住宅部品は、ハーモネーションショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

和室

和室はいつも清潔に、清々しい印象にしつらえておきたいものです。そのために大切なのは、こまめなふき掃除。ただ、和室は、畳や柱、敷居など洋室とは違う建具・建材なので、お手入れ法も違ってきます。



ここをチェック！

- 畳が汚れて黒ずんだり、日焼けで黄ばんだりしていないか。
- 畳のへりが汚れていないか。
- 部屋の隅など畳にカビが生えているところはないか。
- 柱や鴨居、長押などの白木部分に汚れや変色はないか。
- 床の間の地板や違い棚にキズはないか。
- 広縁にキズやへこみはないか。

床の間

床の間の地板や違い棚もからぶきで水ぶきすると保護膜がはがれ、表面のツヤがなくなります。木製家具や床の間専用のワックスを塗っておくと、ツヤが保てる上、汚れもつきにくくなります。

広縁

広縁は縁甲板という床材でできており、表面は樹脂塗装されています。お手入れはフローリングと同じ。ふだんはからぶきし、3〜6ヶ月に一度ワックスをかけると表面に膜ができ、汚れやキズがつきにくくなります。

ぶきして洗剤分を取り、さらさらぶきして水気を取ります。ごしごしこするとあとが白っぽくなるので、たたくようにして汚れを落としましょう。

白木（柱・敷居・鴨居・長押）

白木は塗装されていないため、水分や油分がつくと吸収してシミをつくる場合があります。水ぶきや化学雑巾の使用は避け、ふだんはからぶきをします。手アカなどの汚れがついてしまつたら、お湯で固く絞った雑巾でふき取るか、白木専用の洗剤で落とします。ふいた部分だけが目立たないよう、周りをほかしながらふいていくとよいでしょう。

白木（柱・敷居・鴨居・長押）

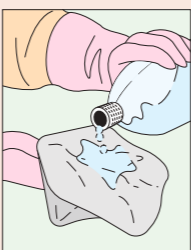
白木は表面加工されていない木材ですから、塗料などは使わずに補修します。

畳のお手入れ

●畳にカビが生えたら

カビは乾いた布でふいても、掃除機をかけても、カビの胞子をまき散らすだけです。アルコール（市販の消毒用エタノール）でふき取るのが一番です。

- ① 乾いた布にアルコールをつけてカビをふき取る。
- ② 部屋に風を通し、畳を乾かす。



アルコールは自然に蒸発するので、水ぶきする必要はない。

●畳が黄ばんでしまったら

酢を使うのが効果的です。

- ① 酢2分の1カップを2リットルのぬるま湯で薄める。
- ② 雑巾を①に浸してから固く絞り、畳をふく。
- ③ からぶきして水気を取る。



湯を混ぜたぬるま湯で雑巾を絞り、畳の目に沿ってふく。

●畳替えの時期は

イ草の畳表は2〜4年経ったら裏返し、さらに2〜3年で畳表を取り替えると、いつも気持ちよい感触が保てます。

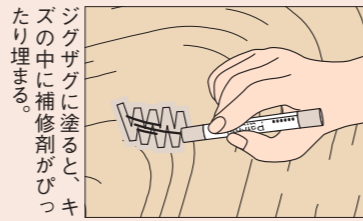
木部のキズの補修

床の間や広縁

床の間の地板や広縁など表面加工してある木部のキズは、木製品専用の補修剤を使って直します。

●小さな筋状のキズは

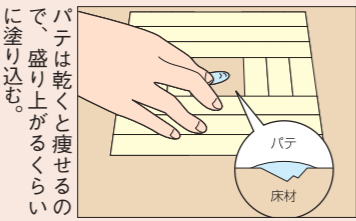
- クレオンタイプの補修剤（*）で直せます。
- ① 木と同じ色の補修剤を、キズと交差するようにジグザグにこすって塗り込む。
 - ② ヘラで余分な補修剤をそぎとる。
 - ③ 必要に応じてクリアラッカーや塗料で色つやを調整する。
- 塗るだけの筆ペンタイプの補修剤もあります。塗ってみて色が薄い場合は、乾いてから重ね塗りをします。



ジグザグに塗ると、キズの中に補修剤がびつたり埋まる。

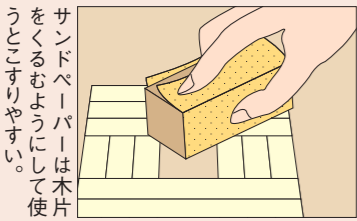
●深いキズやへこみは

- ものを落としたりしてできた深いキズやへこみは、木工用パテや塗料を使って直します。
- ① へこんだ部分にヘラまたは指で木工用パテを塗り込む。キズの周囲にテープを貼って作業すると床が汚れない。
 - ② 木工用パテが乾いて固くなつたら、サンドペーパー（600番〜800番程度）で周囲の面と平らになるように仕上げる。
 - ③ オイルステイン、またはパウダーステインを、周囲と色が同じになるまで重ね塗りする。



パテは乾くと痩せるので、盛り上がるくらいに塗り込む。

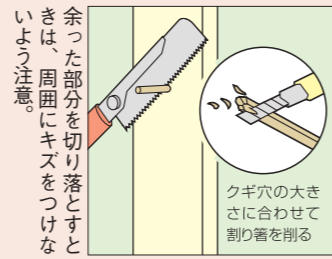
〔注意〕床の間に花器や壺などを飾る場合は、キズがつかないよう敷物を用意しましょう。また、花器の底についた水は、よくふき取ってから置きましょう。



サンドペーパーは木片をくるむようにして使うとこすりやすい。

●画鋲やクギの穴は

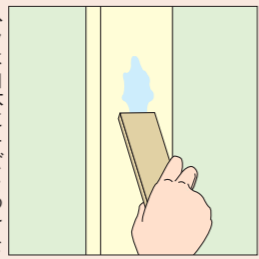
- 楊子または割り箸を削って埋め込みます。
- ① 穴の大きさに合わせて楊子が割り箸を削っておく。
 - ② 削った楊子または割り箸を、先端に木工用接着剤をつけて穴に埋め込む。
 - ③ カッターで余分な部分を切り落とし、平らにする。



クギ穴の大きさに合わせて割り箸を削る

●大きなキズやへこみは

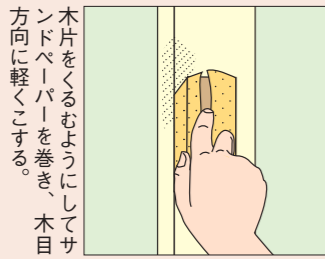
- ものをぶつけたときにできたキズやへこみは、充填剤を埋めて直すことができます。
- ① へこんだ部分にヘラまたは指で白い木工用パテを塗り込む。
 - ② 木工用パテが乾いて固くなつたら、サンドペーパーで周囲の面と平らになるように仕上げる。



ヘラは白木にキズをつけないよう、木のヘラを使うとよい。

●ガンコな手アカは

- 拭いただけでは落ちない手アカ汚れは、サンドペーパーでこするとキレイになります。
- ① サンドペーパー（500番程度）を木片などに巻き付けます。
 - ② 汚れの周囲をほかすようにしながら軽くこすります。強くこすると木を傷めたり、その部分だけ極端に白くなってしまうので、表面を軽くこするのがコツ。



木片をくるむようにしてサンドペーパーを巻き、木目方向に軽くこする。

*印の住宅部品は、ハーモネートショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

障子

ピンと張られた障子はすがすがしく、心が落ち着きます。ふだんのお手入れはもちろんのこと、定期的に障子を張り替えて、お部屋全体を明るく清潔にしておきましょう。



ここをチェック！

- 障子紙が黄ばんだり破れたりしていないか。
- 棧にホコリがたまっていないか。
- 折れている棧がないか。
- 引き手やそのまわりが汚れて黒ずんでいないか。
- 雪見障子などのガラス部分が汚れていないか。
- 敷居が黒ずんだり、隅にホコリがたまったりしていないか。
- 敷居のすべりが悪くないか。

ふだんのお手入れ

障子

白い障子には、目立たないのですが、案外ホコリがついています。週に一度は障子の両面についたホコリを、ハタキや荒神ぼうきなどで上から順に払いましょう。



障子のふだんのお手入れに、どれか一つはぜひ用意を。右からの荒神ぼうき、昔ながらの絹布のハタキ、静電気でホコリを吸着する化学繊維のハタキ。

水分や薬品を吸って変色することがあります。ふだんはからぶきで十分です。また、敷居の隅にたまったホコリ取りには、掃除機の細口ノズルやブラシつきノズルを使うと便利です。

木部

引き手やそのまわりは手アカなどで汚れが付きやすいところです。黒ずんでしまったら、住まいの洗剤を水で薄め、雑巾につけてふき取ります。その後、固く絞った雑巾で水ぶきをして洗剤をきれいに落とします。敷居の汚れも同様に住まいの洗剤で落とします。

ガラス

雪見障子などのガラスの汚れは、ガラスクリーナーをやわらかい布の方に

障子の張り替え

張り替えの目安は年1回

真っ白に張り替えられた障子は、部屋全体を明るくします。張り替えは、要領さえつかめばどなたでも簡単にできます。挑戦してみてください。障子紙は幅広の90センチ幅と28センチ幅が一般的ですが、1枚貼りできる幅広のほうが手軽できれいに貼れます。障子紙・障子紙はがし剤・のりをセツトにしたもの（*）もあります。

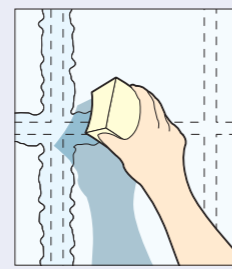
アルミ障子の場合、一般の障子紙を張ると温度や湿度の変化により障子



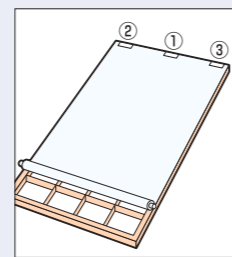
張り替えに必要なのは、障子紙・障子紙はがし剤・障子用ワンタッチのり（または障子用水のり）とハケ、バットなどの容器・定規・カッター・スポンジ・雑巾・セロハンテープなど。

紙が収縮し、紙はがれが発生することがあります。アルミ障子専用の障子紙（パルプ20%+オレフィン系複合繊維80%）をご使用ください。

障子の張り替え手順



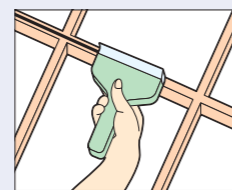
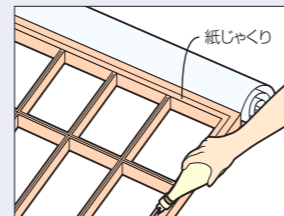
① 古い障子紙をはがす
障子をはがし、はがし剤（*）を入れた溶液を含ませたスポンジやハケで、紙の上から棧を十分にぬらす。5分ほどおいて、端からゆっくりとはがす。はがし残りの紙やのりをぬれ雑巾できれいに落とし、棧を乾かす。
<注意>障子の枠は水で洗わないでください。また、ひなたで乾かすのもやめましょう。棧に狂いが生じるおそれがあります。



② 紙の位置を決める
障子を床に寝かせ、その上に障子紙（*）を広げる。貼り始めの紙の中心をセロハンテープで留め、障子の枠（=かまち）と紙が平行になるように調整して、位置を決める。中心の左右もセロハンテープで固定し、紙を巻き戻しておく。

③ 棧にのりをつける

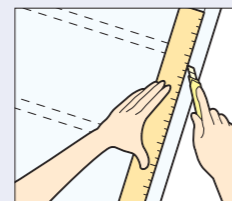
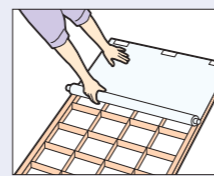
ワンタッチ式ののり（*）の場合 ▶ のりの先端のガイドを、棧の角に合わせる。のりの量は幅1~2ミリ、かまちの紙じゃくり（一段低くなったのりしる部分）には心持ち多めにつける。



◀ ハケを使う場合
水溶性のりの場合は、ハケを少し寝かせながら、トントンとたくようにしてつけていく。

④ 紙を貼り、余分を切る

巻き戻してある紙を、ゆっくり転がしながら、ひっぱり加減に貼っていく。のりがよくつくように、棧の上を軽く手で押さえる。



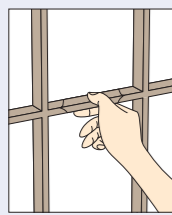
のりが半乾きになったら（ぬれていると切りにくく、完全に乾くと切った紙をはがせない）、紙じゃくりに沿って定規を当て、余分な紙を切り落とす。枠についた余分ののりは、固く絞った雑巾でふき取る。



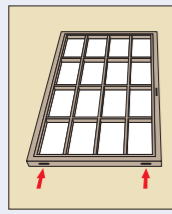
⑤ 霧を吹く
障子紙にしわやたるみがある場合は、立って霧吹きで軽く霧を吹きつけると、乾いたときにピンとなる。

※ここで紹介したのは1枚貼りの方法ですが、巻紙式障子紙の場合は、下から順に貼っていくと、紙が重なる部分にホコリがたまりません。

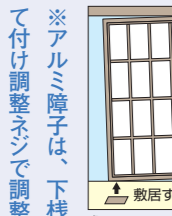
補修・建て付け調整



折れてすぐなら、切断面がぴったり合うのでくっつきやすい。



シールは最低両端2ヶ所、大きい障子の場合は3ヶ所に貼る。



※アルミ障子は、下棧にある建て付け調整ネジで調整します。

●棧が折れたら

折れた棧をそのままにしておくと、ひずみの原因になります。気づいたらなるべく早く処置しましょう。

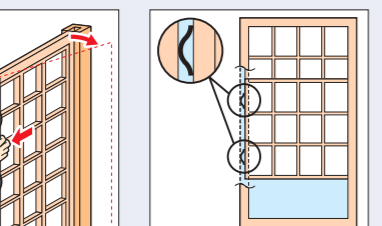
●すべりが悪くなったら
障子のすべりが悪いときは、市販の戸すべりシールや敷居すべりテープ（*）を貼ると、開閉がスムーズになります。

●ガタガタするときは
障子がピッタリ閉まらずガタガタする場合は、敷居すべりテープ（*）で直せます。

特殊な障子のはずし方

●雪見障子

雪見障子の上げ下げ障子には、縦棧にわん曲した板バネが取り付けられています。まず、上げ下げ障子を上下の中間の位置まで引き上げ、中間部分は棧の溝が深くなっているためはずしやすい、引き手と反対側の棧に強く押しつけます。板バネが伸びて障子全体が棧の溝に深く入り、反対側がはずれて出てきます。



上げ下げ障子を、上下の中間の位置まで上げる。

上げ下げ障子を棧の内側に強く引き寄せると、反対側の棧が溝からはずれず。

*印の住宅部品は、ハーモネートショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

室内 建具

室内の建具は風雨にさらされることこそありませんが、手入れを怠れば、やはり見た目の美しさ、機能は低下します。室内建具は家具と同じと考え、ふだんから正しい方法でお手入れしましょう。



ここをチェック!

- ドアパネルに手アカがついていないか。
- ドアパネルにキズがついていないか。
- ガラスが汚れたり、ひびが入ったりしていないか。
- 棧にホコリがたまっていないか。
- ノブや引き手が手アカで汚れていないか。
- ノブやレバーハンドルがグラグラしていないか。
- 蝶番にゆるみはないか。
- 引き戸はスムーズか。

反りやひび割れが生じます。

ドアガラス

ガラスクリーナーをやわらかい布にスプレーしてふくか、またはメガネのレンズふき用クロスを利用します。

ドアノブ・レバーハンドル

アルミ製のドアノブやレバーハンドルは、中性洗剤を水で薄めたものを布につけてふき、その後水ぶきします。デラックス・オークドアのハンドルは真ちゅうですから、真ちゅう磨きをつけて磨いてください。

汚れの落とし方

ドアパネル(木製)

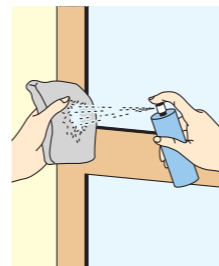
- ① 乾いた布で、あらかじめ表面のホコリをふく。
- ② 木製ドア用クリーナーなどをやわらかい布につけて塗る。
- ③ クリーナーが乾いたら、別の布でふき取る。



ドアノブ・レバーハンドルの周辺は手アカもついているので、念入りに。

ドアパネル(塩ビシート化粧合板)

- ① 中性洗剤を水で薄めたものを布にし



ガラスクリーナーは必ず布の方にスプレーし、木部にはクリーナーをつけないように。

みこませてふく。

② 水ぶきして洗剤を落とす。

③ 最後にからぶきする。

注意

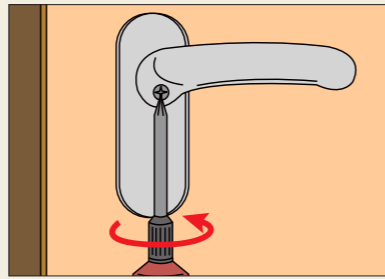
- ① 汚れがひどい場合でも、ワイヤーブラシや金属タワシなど、固いものはキズがつくので使わないでください。
- ② シンナー、ベンジンのような有機溶剤はドアの表面を傷めるので、絶対に使わないでください。
- ③ 木製ドアは湿気を嫌いますから水ぶきはしないでください。木製ドア表面に絶えず湿気を与えると、木目内に水分が入り、木の膨張・変形などにより使われないでください。

ハンドルの交換

レバーハンドルの調整と交換

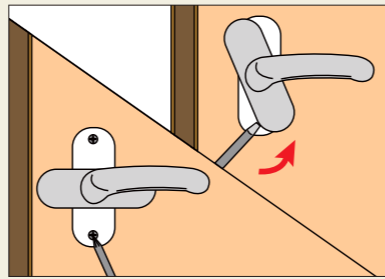
ハンドルの調整

●レバーハンドルがぐらついたら
二つのケースが考えられますが、一つはレバーハンドルの根元下部にあるネジのゆるみ。レバーハンドルを下から見上げると根元にネジが見えますから、これを締め直してください。



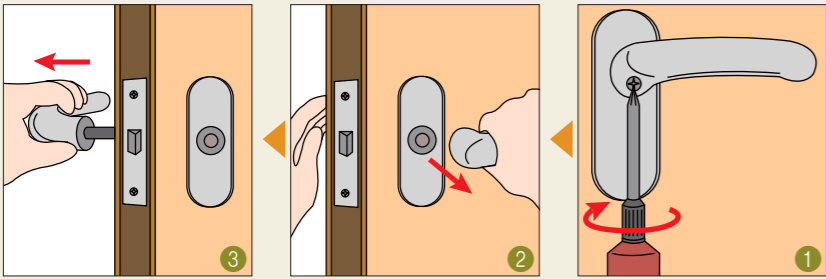
根元下部のネジを、プラスドライバーでしっかり締め直す。

●台座のぐらつきは
室外側の台座のカバーをはずし、中にあるネジを締め直します。
まずマイナスドライバーをカバー下部の切り欠きにあてがいカバーを浮かせ、カバーが邪魔にならないよう横にした状態で、2ヶ所のネジを平均に締めます。



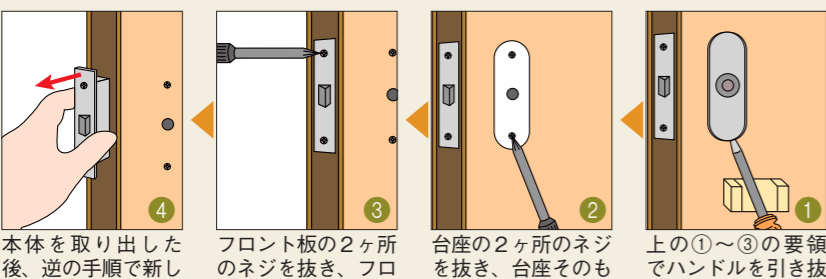
浮かしたカバーを90度回転させてから、2ヶ所のネジをしっかりと締める。

●ハンドルが破損したら
レバーハンドルに固いものがぶつかったり大きな力が加わると、ひび割れを起こすことがあります。そんなときは新しいレバーハンドル(*)を取り寄せ、付け替えてください。
方法は、ハンドルの付け根のネジをはずして抜き取り、新しいハンドルを差し込むだけ。プラスドライバー1本で交換できます。このとき、どちらか一方の側の付け根のネジをはずせば、両側のハンドルとも引き抜くことができます。あとは逆の手順で新しいハンドルを取り付けましょう。



① プラスドライバーを使って付け根にあるネジをはずす。
② 反対側のハンドルを手で押さえながらハンドルを引き抜く。
③ 反対側のハンドルは、ネジをゆるめずそのまま引き抜く。

●ハンドルが戻らないときは
トイレなど頻繁に開閉するドアは、年月の経過により、ハンドルが下がったまま元に戻らなくなることがあります。
これは本体内部のバネの破損が原因ですので、本体ごとそっくり交換しましょう。この場合は、バネや台座がセットになったレバーハンドル(*)を取り寄せ、下図の要領で交換してください。

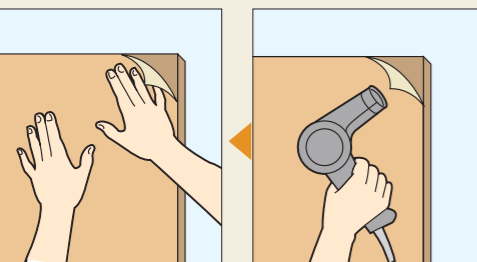


① 上の①～③の要領でハンドルを引き抜いた後、室外側の台座カバーをはずす。
② 台座の2ヶ所のネジを抜き、台座そのものを取りはずす。
③ フロント板の2ヶ所のネジを抜き、フロント板をはずす。
④ 本体を取り出した後、逆の手順で新しいハンドルを取り付ける。

仕上げ材の補修

●表面仕上げ材(ビニール系)がめくれてきたら
素材に適した接着剤を使って次の手順で直します。

- ① 市販の「アクリルエマルジョン系接着剤・速乾(用途に木・皮・布・紙・ビニールとあれば該当)」、または「エチレン酢酸ビニル樹脂系接着剤」を用意。どちらもよくつくが、後者のほうがより速乾性がある。
- ② めくれている仕上げ材をドライヤーで温め、やわらかくする。
- ③ 仕上げ材が手になじむようになったら裏面に接着剤を塗る。
- ④ 凹凸ができないよう丁寧に貼る(ローラーまたはビンの胴部でこするのよい)。
- ⑤ はみ出した接着剤はふき取る。



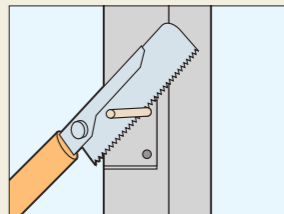
仕上げ材をドライヤーでやわらかくしてから接着剤を塗る。
空気が入ったりシワができたりしないよう、ていねいに貼る。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

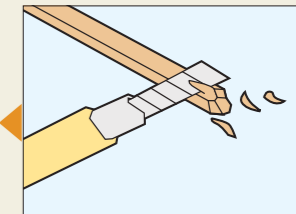
ドア

●蝶番がゆるみ、ドアが閉まりにくいときは
蝶番のネジがゆるみ、ドアを持ち上げないと閉まらないときは、蝶番のネジをドライバで締めてください。ネジ穴が大きくすり減り、ネジが効かなくなっている場合は、ネジ穴を補修します。

①まず、ゆるんでいる蝶番のネジをはずす。
②ネジ穴に、細く削った割り箸の先に木工用接着剤をつけて埋め込む。
③余分な箸を切り落とし、その上からキリでネジ穴をあけ、蝶番のネジを留める。



木工用接着剤でしっかり固定したら、余分な箸を切り落とす。

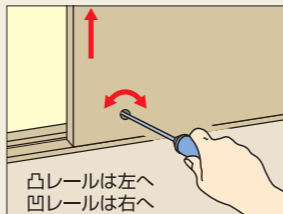


ネジ穴の大きさに合わせて割り箸を細く削る。

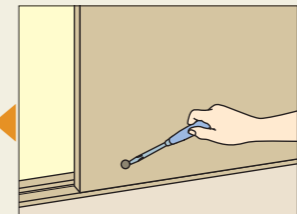
室内建具の建て付け調整

引き戸

●引き戸がガタガタするとき
引き戸を開け閉めする際、ガタガタ音がしたり、すべりが悪いときは、引き戸の傾きまたは戸車の摩擦・破損が原因です。
①引き戸左下にある小さな穴ふさぎキャップをはずすと、中に戸車調整ネジがある。これをドライバで回し、引き戸が縦枠と平行になるように調整する。
②戸車自体が摩擦したり破損している場合は、新しい引き戸戸車(*)を取り寄せて交換する。



凸レールは左へ、凹レールは右へ回すと引き戸が持ち上がる。

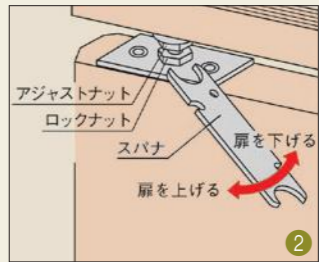


マイナスドライバーで引き戸下にあるキャップをはずす。

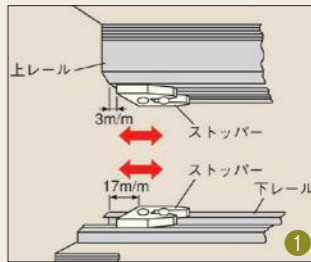
クロゼットドア

クロゼットドアには、折り戸、開き戸、引き違い戸があり、タイプによって調整の仕方が異なります。ドライバとスパナで調整します。

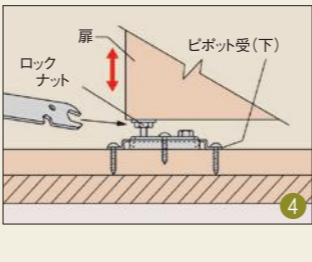
●折り戸・フリー可動タイプ
「扉の左右調整」Ⅱ図①
①上下のストッパーのビスをゆるめる。
②ストッパーの位置を、上レール側は壁面から3ミリ、下レール側は壁面から17ミリに設定する。
「扉の上下調整」Ⅱ図②
①ストッパーから吊戸車を取りはずす。
②スパナで吊戸車のロックナットをゆるめ、アジャストナットを回す。上レールと扉の間隔が13〜14ミリとなったところでロックナットを締める。



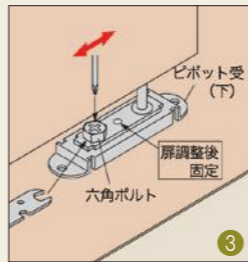
扉を下げる、扉を上げる



3mm、17mm

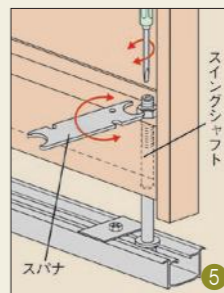


六角ボルト



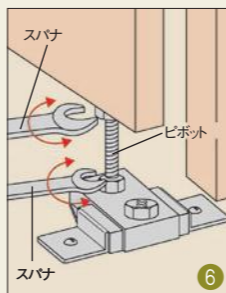
扉調整後固定

●折り戸・フラットタイプⅡ図⑤
①扉の下部に付いているスイングシャフトのナットをスパナでゆるめる。
②シャフトの頭をマイナスドライバーで右に回すと扉は上がり、左に回すと扉は下がる。
③調整後、ナットを締めて固定する。



スイングシャフト

●開き戸タイプ(鋼板製)Ⅱ図⑥
①扉下部のピボットの上部の六角ナットをスパナでゆるめる。
②ピボットの下部の六角ナットをスパナで右に回すと扉が上がり、左に回すと扉が下がる。
③調整後、上側の六角ナットを締める。



スナ、スナ

●引き違い戸タイプ
戸の引き手側下部にある調整ネジ付き戸車を、プラスドライバーで右に回すと扉が下がり、左に回すと扉が上がり、左に回すと扉が下がる。
※ご自分で調整できそうにないときは、無理せずファミエスまでご相談ください。

自分でできる わが家のお手入れ

勝手口
ドア

勝手口ドアは、雨や泥、そしてゴミ出しのときの汚れがつきやすいところです。ふだんはあまり目につかないところですが、汚れは早めに落としましょう。



ここをチェック!

- ドアガラスが汚れていないか。
- ドア枠は汚れていないか。
- ドアの開閉はスムーズか。
- 面格子がホコリや泥で汚れていないか。
- 面格子にクモの巣が張っていないか。
- 網戸にホコリがたまっていないか。
- 開閉の際、蝶番がギシギシ音をたてていないか。
- ドアストッパーがきちんと機能しているか。

ふだんのお手入れ

ドアパネル(金属部)

勝手口ドアのドア枠は、鉄にアクリル焼き付け塗装したものと、アルミ材に着色したものの2種類があります。お手入れ法はどちらも同じです。ふだんはからぶきをしてください。頻繁に水をかけて洗うと、ドアパネルとガラスの間から水が入り、金属の腐食の原因になります。

雨風により、ドアの外側に泥やホコリがこびりついたときは、中性洗剤を薄めたものをスポンジか洗車ブラシにつけてこすり落とし、その後水洗いして洗剤分を洗い流します。

泥はねも時間が経つと落としにくくなりますから、気づいたら早めにお手入れしておきましょう。

ガラス

ふだんはからぶきをしてください。汚れが目立つときは、ガラスクリーナーを布につけてふき取ります。

面格子

面格子は防犯のためのものです。面格子そのものを取りはずすことはできません。お掃除のときは、面格子、棧などは、古くなった歯ブラシでホコリや汚れを落とすようにおきましょう。

網戸

室外側には面格子がついていますが、室内側からポリバタキや網戸用ブラシでホコリを払うか、掃除機で吸い

取ります。

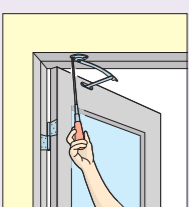
アコーディオン式網戸は、ハタキなどで軽くホコリを払います。また、レールにホコリやゴミがたまると網戸がスムーズに開閉しなくなり、掃除機でこまめに取り除いてください。

注意

①パネルとガラスの間には、ビード(すき間ふさぎ材)がはめられています。これがはずれていると水が入り込む原因になりますから、掃除の前に点検し、はずれていた場合はお直しください。
②ホースで水をかけるのは避けてください。ビードがあっても、パネルとガラスの間から水が入り込むことがあります。
③汚れが落ちないからといって、シンナーやベンジンのような有機溶剤は絶対に使用しないでください。ドアの塗装を傷める原因となります。

蝶番・ストッパーの点検

●蝶番
ネジがゆるんでいると開閉に支障をきたします。ネジを締め直し、心棒に潤滑剤を差します。
●ドアストッパー
ドアストッパー固定部のネジもゆるみがないか確認。注油をするとはずすので、潤滑剤を布につけ、表面を磨くだけにします。ストッパーが古くなって効かない場合は、新しい勝手口レバーストッパー(*)に交換します。



すべてのネジをバランスよく締める。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

キッチン

キッチンは、家の中で一番汚れが付きやすいところ。ガンコな油汚れや、悪臭をとまなう水回りの汚れは、お掃除もひと苦勞。汚れをこびりつかせない工夫や短時間できれいにするコツをご紹介します。



ここをチェック!

- カウンターに水はねや油汚れがないか。
- シンクのステンレスがくもったり、サビがついていないか。
- 排水口の水はけはよいか、悪臭はしないか。
- 給排水管に水漏れがないか。
- レンジにふきこぼれや油はねがないか。炎は正常か。
- 換気扇に油がこびりついていないか。
- 収納扉が油でベタついていないか。

ふだんのお手入れ

1日1回、食事の後片づけが終わった後にレンジまわりをサッとひとふき、シンクもサッとひと洗いで済ませよう。これだけで汚れのつき方が違ってきます。

カウンター

カウンターの材質はステンレス、ポストフォーム、人造大理石の3種類。どれも使用後は、固く絞った雑巾でふいておきましょう。油汚れはスポンジに台所用洗剤をつけてふき、その後水ぶきします。

ガンコな汚れは、練り歯磨きかクリームクレンザー、または重曹をスポンジにつけてやさしくこすり落とし、その後水ぶきします。

シンク

シンクの多くはステンレス製です。ふだんはスポンジに台所用洗剤をつけてグルリとひと撫でし、その後水洗いします。水滴が残るとくもりの原因になるので、最後は乾いた布でふいておきましょう。

こびりついた汚れや、他の金属からのもらいサビは、クリームクレンザーか重曹をスポンジにつけてこすり落とし、その後水洗いします。

〔注意〕 ステンレスに塩素が付着すると、サビや穴あきの原因になります。塩素系洗剤やぬめり取り剤は使わないようにしてください。

排水口

汚水中の脂肪分は、いろいろな汚れといっしょになって排水口に付着し、詰まりの原因になります。油はできるだけ流さないこと。毎日1回は、受け皿やトラップもタワシか古い歯ブラシで洗い、ぬめりを取り除いておきましょう。

レンジ

レンジについた油や煮こぼれは、熱いうちならペーパータオルやポロ布でふくだけで簡単に落ちます。

こびりついた汚れは、ポロ布に住まいの洗剤をつけてこすり落とし、その後にお湯ぶきします。市販の使い捨てふき取りシートも便利です。炎が不揃いの場合にはバーナー用ブラシかキリで目づまりを直します。

収納部

木製の収納部は週に一度はからぶき、または化学雑巾でふきます。油のベタつきは台所用洗剤を水で薄め、布につけてふき取り、その後水ぶき、からぶきをします。季節に一度、木部用ワックスを塗っておくと汚れがつきにくくなります。

換気扇・レンジフードファンの分解掃除

お手入れ法

壁付けの換気扇もレンジフードファンも、お手入れの仕方は同じです。下段を参考に部品をはずし、お手入れしてください。

●つけ置き洗いをする

①大きめの容器に台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯をためる。

②その洗剤液にはずした部品を浸し、30分ほどおく(油が黒いゴム状になってこびりついているときは、割り箸などでこそげ落としてから洗剤液に浸す)。

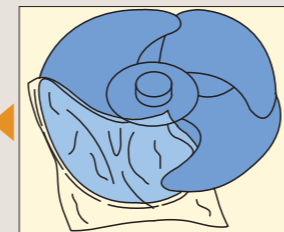
③汚れがゆるんだらポロ布でふき取り、水洗いまたは水ぶきをして洗剤を落とす。

④十分に水洗いした後、カラブきする。

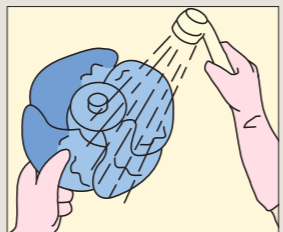
〔注意〕 お手入れは必ず換気扇の電源を切ってから行うこと。また部品を取りはずす際は、ケガをしないようゴム手袋を着用しましょう。

はずし方

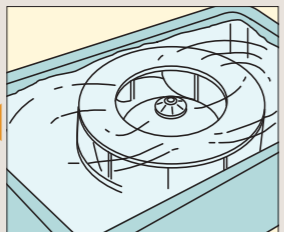
●換気扇



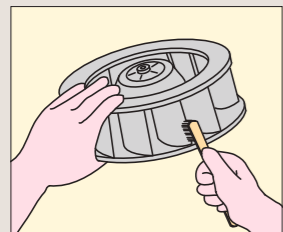
洗剤を吹き付けた上にティッシュペーパーをかぶせる。



汚れをふき取り、シャワーをかけて洗剤分を洗い流す。

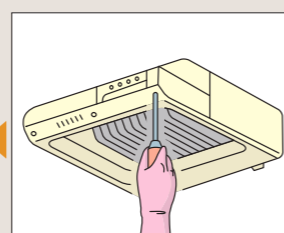


40~50℃のお湯に洗剤を溶かして使うと効果的。

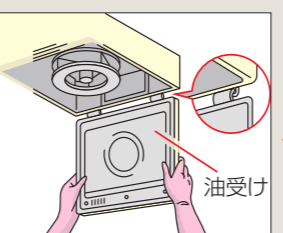


入り組んだ部分の汚れは歯ブラシを使うと落としやすい。

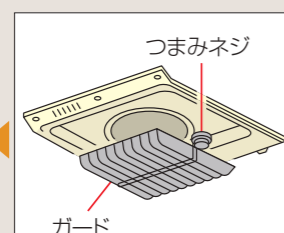
●スタンダードターボファン



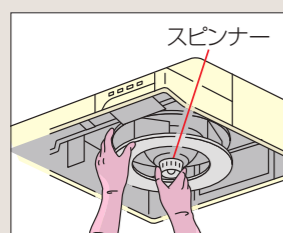
油受けを留めている3本のネジをゆるめる。



後部の蝶番を軸に扇状に開き、そのまま手前に引いて油受けをはずす。

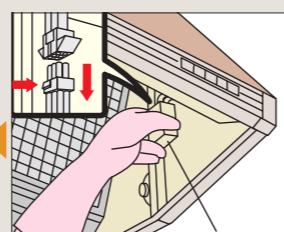


油受けについているガードも、両側のつまみネジをゆるめてははずす。

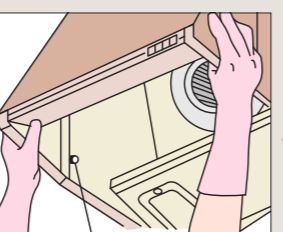


スピナーを「ユルム」の方向に回し、ターボファンを手で支えながらはずす。

●DXレンジフードファン



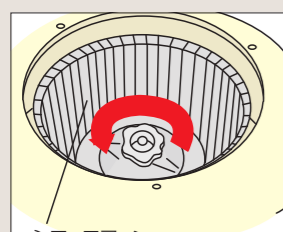
コネクタカバー固定用ネジをゆるめてカバーを開け、中のツメを押しながら引き抜く。



ステンレスのグリッスフィルターをはずした後、前板を手前に引いてははずす。

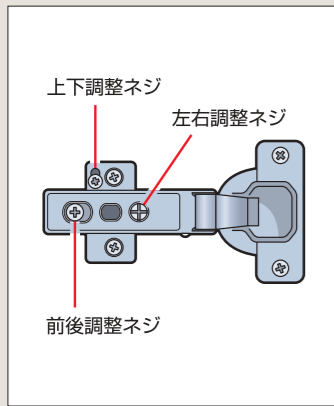


シロッコファンのベルマウスを取り付けネジ3ヶ所を手でははずし、ベルマウスをはずす。

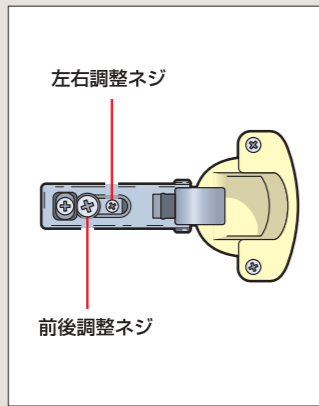


中央のつまみを「ユルム」の方向に回し、シロッコファン本体を手で押さえながらはずす。

収納扉の建て付け調整



●タイプB



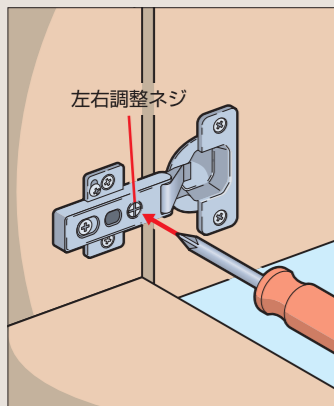
●タイプA

蝶番のしくみ
収納扉は長い間開け閉めを繰り返すうち、扉が傾いたりきちんと閉まらなくなることがあります。でもほとんどの場合、ドライバーで蝶番のネジを調整すれば直ります。

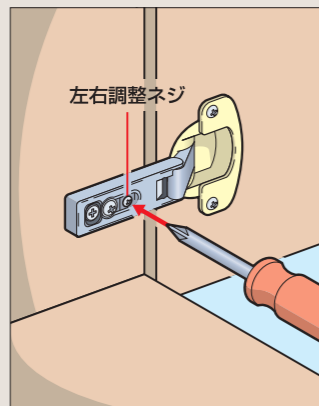
収納扉に使われている代表的な蝶番は左の2タイプです。Aは「左右」「前後」の調整ネジだけで「上下」の調整ネジがないタイプ。Bは「左右」「前後」の調整ネジが横に並び、上に「上下」の調整ネジが付いている比較的新しいタイプです。なお、これ以外のタイプについてはファミエスまでお尋ねください。

蝶番のしくみ

収納扉は長い間開け閉めを繰り返すうち、扉が傾いたりきちんと閉まらなくなることがあります。でもほとんどの場合、ドライバーで蝶番のネジを調整すれば直ります。



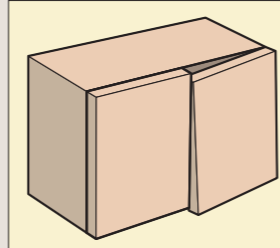
●タイプB



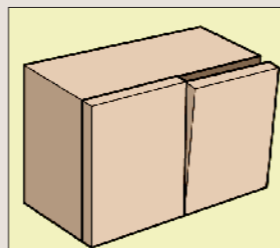
●タイプA

調整の仕方
①上下2ヶ所の蝶番の「左右調整ネジ」を少しずつ左(または右)に回す。
②扉が正しい位置にきたところで止める。

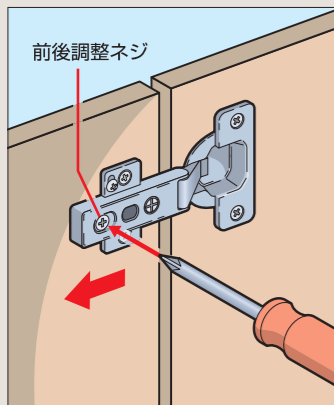
調整の仕方



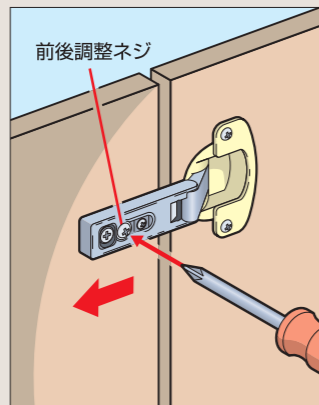
●扉が左または右に傾いたら



●扉が前に傾いたら

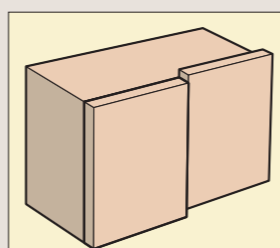


●タイプB

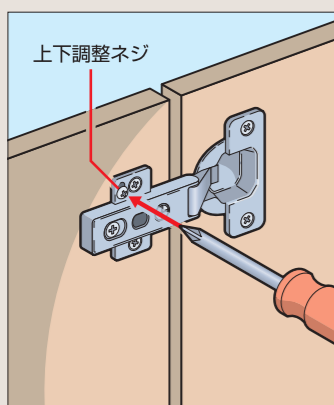


●タイプA

①上下2ヶ所の蝶番の「前後調整ネジ」をゆるめる。
②蝶番を矢印の方向に、扉がまっすぐになるまでスライドさせる。
③「前後調整ネジ」を締める。



●扉が上(または下)にずれたら

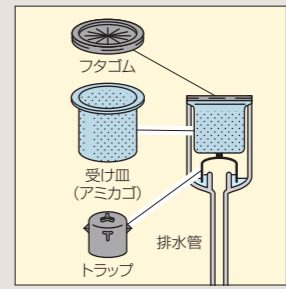


●タイプB

タイプAは、扉の上下の位置は固定されており、上下にずれることはありません。したがって「上下」を調整するネジがついていません。万一下上にずれってしまった場合は、蝶番を移動して留め直す方法がありますが、蝶番が破損している場合もありますので、無理をせずファミエスへご相談ください。

タイプBは、①上下2ヶ所の蝶番とも「上下調整ネジ」をゆるめる。
②扉を正しい位置まで下げ(上げ)る。
③「上下調整ネジ」を締める。

排水口の掃除と部品交換



トラップは左(反時計回り)に回すとはずれる。

●排水口の掃除
排水口は週に一度、部品をはずしてお掃除しましょう。
①フタゴム、受け皿(アミカゴ)、トラップなど、はずせるものははずす。

②取りはずした部品をタワシやブラシできれいに洗う。
③排水口や排水管の内側も、手の届く範囲は古い歯ブラシなどを使って洗う。
④最後に排水管にパイプ用洗剤を流し込み、少なくとも5分間はそのまましておく。こうすれば排水管の悪臭を防ぎ、水の通りもよくなる。

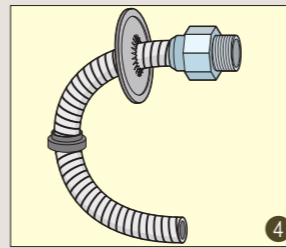
●排水口の部品交換
フタゴムや受け皿(アミカゴ)などの部品は、古くなって汚れが落ちにくいようなら、新しいもの(*)に交換しましょう。
ぬめりがつきにくい銅製の部品(*)もおおすすめです。銅イオンには殺菌作用があり、雑菌の繁殖を抑えてくれるからです。

●排水ホースの交換
排水ホースは、年数が経つと内側に汚れがこびりつき悪臭の原因になります。10年近く経つたら、排水ホースを交換しましょう。汚れや悪臭も解消され、すっきりします。

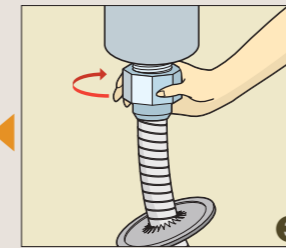
ホースの構造は、一方がシンクの排水溝にナットで固定され、もう一方が床下の排水管に差し込まれているだけ。樹脂製のナットは手で回せばはずすことができます。下の図のように工具を使わなくても交換できます。

まず現在取り付けられているホースと同じものを(*)取り寄せてください。

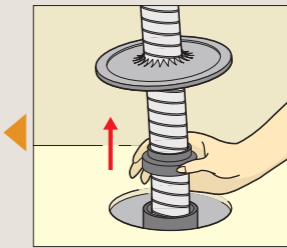
ホースはシンクのタイプによって異なり、シンクが一つの場合は排水ホース「大」、ダブルシンクなら「大」と「小」、または「Y管」が取り付けられています。シンクが一つでも二つでも、ホースのほし方や取り付け方は、基本的には同じです。



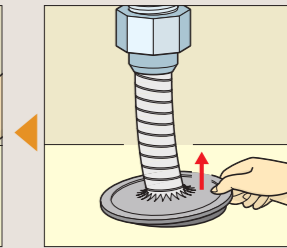
① 床面に固定されている防虫カバーをはずし、上に移動する。



② 黒またはグレーの防虫キャップをはずし、ホースを抜き取る。



③ シンク側のナットを回してホースをはさず。

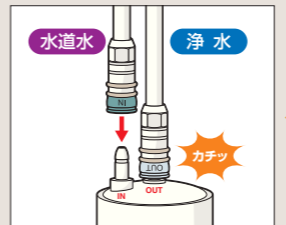


④ 新しいホースに防虫カバーなどを付け替えてから取り付ける。

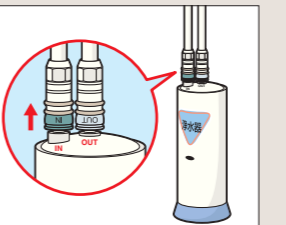
浄水器カートリッジの交換

浄水器をご使用の場合は、適正な時期にカートリッジを交換してください。交換せずに使い続けると、不純物が蓄積し、浄水機能が低下してしまいます。

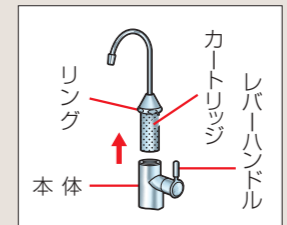
●コンパクトキッチン専用浄水器(*)
(3〜6ヶ月を目安に交換)
①レバーハンドルを閉めた状態でリングを回し、吐水口をカートリッジごとはずす。
②吐水口からカートリッジを抜き取り、新しいものを差し込む。
③本体にセットし、リングを回して固定する。



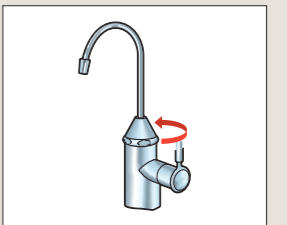
IN・OUTの表示シールに合わせてしっかり差し込む。



リングを右に回してロックを解除し、リングごと引き抜く。



吐水口ごとカートリッジを抜き取り、交換する。



レバーハンドルを閉めた状態でリングを回す。

*印の住宅部品は、ハーモネートショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

浴室

ふだんのお手入れ

浴槽

浴槽には、石鹸カス、身体のアカ、湯アカ、水道水に含まれる鉄分など、たくさん汚れがたまります。入浴後のぬくもりが残っているうちなら、簡単に落ちるので、入浴後か遅くとも翌朝には、湯を抜きながらスポンジかタオルで掃除しましょう。汚れが激しい場合は、浴室用洗剤をつけて汚れをこすり落とし、その後水洗いをします。

床

床全体にシャワーをかけて飛び散った石鹸カスやアカを洗い流します。必要に応じて浴室用洗剤を使います。最後に雑巾で水気をふき取りましょう。

浴室は、家の中で最もカビが発生しやすい場所。湯アカ、石鹸カスなどの汚れは、こびりつくと簡単にはとれません。毎日気持ちよく入浴するためにも、その日の汚れはその日のうちに落とすようにしたいものです。

壁・天井

腰から下の壁部分は、床同様石鹸カスなどが飛び散っています。シャワーをかけるか、スポンジで洗い流しましょう。必要に応じて浴室用洗剤を使って洗います。

壁の上部や天井は、汚れよりもカビが付きやすいところ。入浴後、モップなど柄の長い道具を使って、水滴をふき取っておくとカビ予防になります。

窓・ドア・ブラインド

窓ガラスやドアの内側も壁同様水滴をふき取ります。窓にブラインドがついている場合は、羽を閉じた状態で水滴をふき、その後羽を水平にして風を通します。

換気でカビ予防を

カビ予防には換気が一番。浴室換気扇の消費電力は1時間約4ワットと電気代はわずか。入浴後水滴をふき取り、少なくとも1〜2時間換気扇を回しましょう。また、入浴時、就寝時、外出時以外ではできるだけ浴室の小窓を開けておくと風通しがよくなります(ただし凍結のおそれのある寒冷地では閉めます)。

なお、カビは一度生えたところに何度も出てきます。定期的にカビ止め剤をスプレーしておくと、ある程度は予防できます。

蛇口ストレーナー

水に混じっている細かいゴミが、蛇口ストレーナー(網目状の過装置)に付着すると、水の出が悪くなるので定期的に

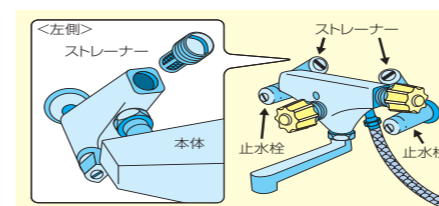
ここをチェック!

- 浴槽のふちや内側に、湯アカや石鹸カスがこびりついていないか。
- コーキング部、ブラインド、換気扇などにカビが生えていないか。
- 循環パイプから浴槽に湯アカが出てくることはないか。
- 浴槽の排水栓が摩耗し水漏れしていないか。
- 蛇口やシャワーの湯水の出が悪くないか。
- シャワーホースに傷みがないか。
- 排水口の水はげが悪くないか。
- 浴室ドアの開閉はスムーズか。

掃除したい場所。蛇口先端にストレーナーがついているタイプは、ナットを指で回してはずし、ゴミを取り出します。一部のサーモスタット式混合水栓は、次のようにはずして掃除します。

「蛇口ストレーナー」の掃除法

- ① 左右の止水栓をマイナスドライバーで閉じる。
- ② ストレーナーのキャップをドライバーでゆるめてはずす。
- ③ ストレーナー内側のゴミを、ブラシやドライバでこすり落とす。
- ④ ストレーナーをはずした状態で、止水栓を少し開き、内部に残っていたゴミを流し出す。
- ⑤ ストレーナーにキャップをはめ込んでパチッと音がする(戻し、キャップをしっかりと締めて完了)。



汚れやカビの落とし方

こびりついてしまったガンコな汚れやカビは、次のようにして落とします。

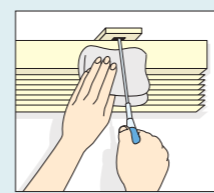
- **浴槽の湯アカや石鹸カス:**
 - ① クリームクレンザーまたは重曹をスポンジにつけて、汚れをこすり落とす。
 - ② 水洗いをしてクレンザーや重曹を洗い流す。

- **コーキング部のカビ:**
 - ① カビ取り剤を塗り、1時間程度おく。
 - ② スポンジでこすり落とす。
 - ③ 水洗い、または固く絞った雑巾で水ぶきする。

- **設備の汚れやカビ:**

住まいの洗剤やカビ取り剤を使って落とします。掃除がしにくい場合は次の手順で掃除します。

 - ① 上部フックのプラスチックフックを、マイナスドライバーで引き出す。
 - ② 本体を押し上げて手前に引く。

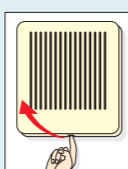


フックに小さく「PUSH」とあるものは、指で押せばはずれる。本体にキズをつけないよう、布を当てて作業するとよい。

- **換気扇カバー**

ネジ式とはめ込み式があり、ネジは、ネジをドライバーでゆるめるとはずれます。

はめ込み式はカバーの下の面にある切り込みを指をかけ、手前に引きます。切り込みがないものは、マイナスドライバーをカバーと壁の間に入れ、同様にはずします。



カバーの下の面にある小さな切り込みを指をかけてはずす。

毎月定期的に行うお掃除

外釜循環パイプ

- **2つ穴タイプ**

下の穴から入った水が加熱されて高温のお湯になって上の穴から出るしくみです。湯の循環スピードが遅いので、どうしてもパイプ内に湯アカがたまりやすくなります。

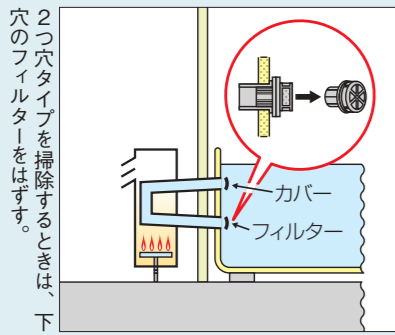
【2つ穴タイプの掃除法】

 - ① 下の穴のフィルターをはずす。
 - ② ホースの先を下の穴からパイプ内に向け、勢よく放水する。これを2、3回くり返す。
 - ③ フィルターも水で洗っておく。

このほか市販の風呂釜用洗剤を使って掃除する方法もあります。

- **1つ穴タイプ**

ポンプを使い、一つの穴で吸入と排出を行う強制循環です。湯の循環スピードが速いのでパイプに湯アカはつきませんが、フィルターだけは月に一度は洗っておきましょう。



2つ穴タイプを掃除するときは、下の穴のフィルターをはずす。

排水口

- **排水口のゴミ**

排水口は、髪の毛などのゴミをトラップのために排水管に流さないうきみ。ここにゴミがたまると水の流れを妨げ、悪臭の原因にもなるので、排水口の蓋をはずして、中を掃除します。悪臭があるときは、市販のパイプ用洗剤や漂白剤を流し込みます。
- **エイジレスバス**

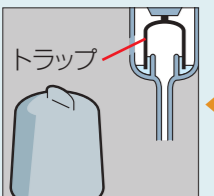
段差を解消したエイジレスバスには、排水口が2ヶ所(水栓側、出入口側)にあるタイプもあります。出入口側の排水口を掃除する際は、スノコ(グレーチング)下の排水溝もいっしょに掃除しましょう。



トラップを左右に回してははずし、歯ブラシ等で汚れを落とす。



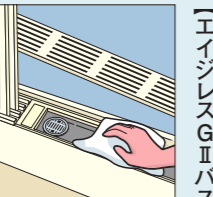
ビニール袋に手を入れて、中のゴミをつかみ、袋を裏返して捨てる。



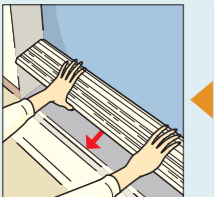
割り箸を目皿の中に入れて、目皿を持ち上げてははずす。



グレーチング(スノコ)を両手で持ち上げてははずし、中の溝と排水口を掃除する。



【エイジレスバス(出入口側)】
扉下レール部分がグレーチング。はずすときは扉を片側に寄せて持ち上げる。



【エイジレスバス(出入口側)】
グレーチングは脱衣室側から先にはめ込むと、スムーズに取り付けられる。

トイレ洗面

トイレや洗面は、いつも気持ちよく使いたいところです。汚れをためず、いつも清潔にしておきましょう。水洗のトラブルが起こったら、すぐに点検して直すようにしましょう。



ここをチェック！

- 便器の内側周囲やふちが水アカで茶色くなっていないか。
- ロータンクの水はきちんと出て、きちんと止まるか。
- 水の流れ具合はいいか。
- 洗面ボールに石鹸カスの汚れがついていないか。
- 洗面カウンターに水アカがついていないか。
- 蛇口のメッキがくもったり、黒ずんだりしていないか。
- 鏡に水ハネのあとがついたり、くもったりしていないか。

【鏡】

ふだんはからぶき。化粧水などがはねたら、住まいの洗剤でふき取ってから、水ぶきします。月に1〜2度は鏡用クリーナー、またはガラススクリーナーでふいておきます。

きれいにした後、市販のくもり止めコーティング剤を塗っておくと、ある程度くもりを防ぐことができます。

【給・排水管】

夏の暑いときや冬の暖房時には給・排水管の外側が結露してサビの原因となります。気づいたらすぐ乾いた布でふき取りましょう。月に一度防サビ剤を塗布しておくとしびが付きにくくなります。

の後に水洗いします。



洗面もトイレも、汚れをためず、こまめにお掃除することが大切。

【蛇口】

週に一度、からぶきします。表面がくもってきたら、練り歯ミガキをつけて磨くときれいになります。

蛇口の先端のストレーナー(網目状のろ過装置)には水中の細かいゴミが付着します。ストレーナーは指で回せばはずれますから、1〜2ヶ月に一度ははずして、歯ブラシで掃除しておきましょう。

ふだんのお手入れ

トイレ

便器は陶製です。時間が経って汚れがこびりつくと、簡単には落とせませんから、こまめなお手入れが大切です。

1日1回は、水を流しながら便器の内側をトイレブラシでこすり洗っておきましょう。とくに洗浄水の出る穴の周囲や、水たまりのふち、水たまりの底などは汚れがつきやすいので、多少念入りにこすり洗います。同様に、週に一度トイレ用中性洗剤をつけてこすっておけば、汚れがこびりつくことはまずありません。

便器のふちや外側は水ぶきできれいにします。(トイレ用ふき取りシートも便利)

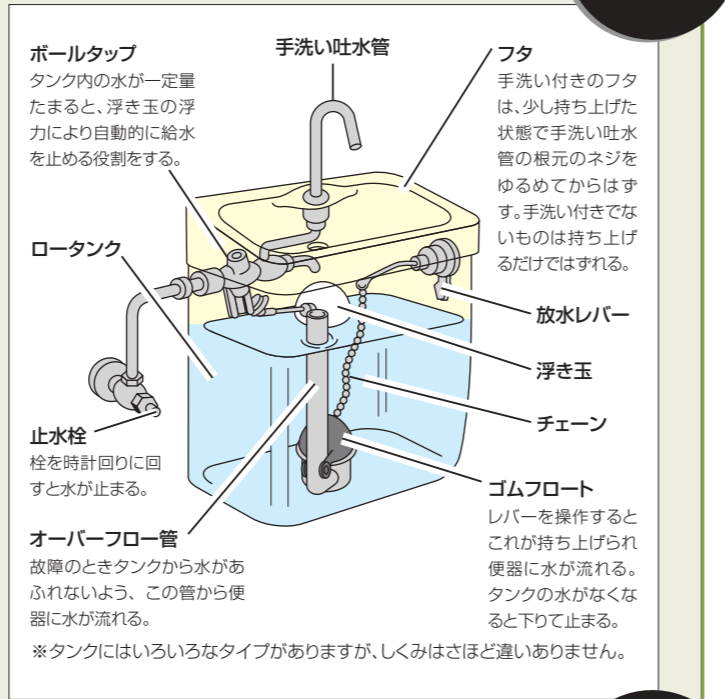
洗面

便座は樹脂製です。ふだんは固く絞った雑巾でふくだけにします。トイレ用の洗剤は便座を傷めるものもあるので使わないようにしましょう。汚れたら台所用の中性洗剤を薄めたものでふき、その後は水ぶきします。

洗面ボールやカウンターは陶器または人造大理石でできています。ここにつく汚れは、水アカや石鹸カス、体の皮脂など。トイレと同じく、汚れをこびりつかせないことがポイントです。使用後は、洗面ボールにぐるりと水をかけ、カウンターに飛び散った水滴や石鹸をふき取りましょう。週に一度は、スポンジなどに浴室用洗剤をつけて汚れをこすり落とし、そ

トイレのトラブル対処法

ロータンクのしくみ



水が止まらないとき

水が止まらないときは、最初に止水栓を開けたままで、タンクの水位を確認してください。水面が、オーバーフロー管の先端より下であれば(図①)レバー、チェーン、フロートバルブのトラブル。水面が高く、オーバーフロー管から水があふれ出している場合は(図②)、浮き球か、ボールタップのトラブルです。

①の場合はレバーを回して元に戻るかどうかを確認します。戻らないときは心棒のサビ付きが原因。心棒に潤滑防サビ剤を吹き付けます(図③)。

レバーが正常であれば、チェーンがからんでいないかを確認し、からんでいるようなら直します(図④)。

フロートバルブがはずれていたら、アーム部分を軸の突起にしっかりとめ込んでください(図⑤)。

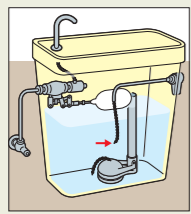
②の場合は浮き球の支持棒がはずれたり、ゆるんでいないかを確認。ゆるんでいたら固定ナットを締めます(図⑥)。

水が出ないとき

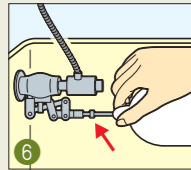
水が出ないときは、まず断水・凍結などを確認してください。そのどちらでもないときは、止水栓を閉めてから、次の作業を行います。

●**チェーンがはずれていたら**
アームとチェーンがはずれていたら、まず手でフロートバルブを開けてタンク内の水を流してから、左上図の要領でチェーンをかけ直します。

●**チェーンが切れていたら**
新品チェーンと交換するか、とりあえずの応急処置として、針金などでつないで直します。この場合は、長くは持ちませんので、早めに新しいチェーンを用意して直しましょう。



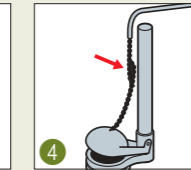
針金などでつなぐのは、あくまで応急処置。



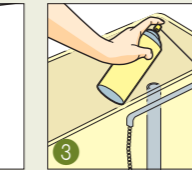
浮き球の支持棒がはずれたりゆるんでいたら、固定ナットを締め取り付ける。



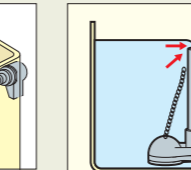
はめ込んだ後、2〜3度操作してきちんと開閉するかを確認。



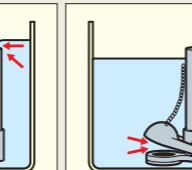
チェーンのからまりをほぐし、フロートバルブがきちんと閉まるか確認。



タンクの内側から、心棒に潤滑防サビ剤を吹き付ける。



タンク内の水位を確認するときは、止水栓を開けたままで。

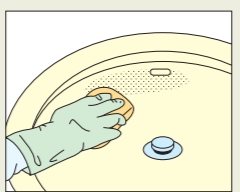


浮き球の支持棒がはずれたりゆるんでいたら、固定ナットを締め取り付ける。

汚れの落とし方

トイレや洗面の汚れは、こびりついてしまうと、洗剤でも落ちにくくなります。ガンコな汚れは次のようにお掃除しましょう。

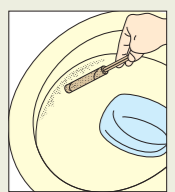
- 洗面ボールの汚れは**
クリームクレンザーまたは重曹で、ある程度きれいになります。
- ①スポンジをぬらし、よく絞る。
- ②スポンジにクリームクレンザーまたは重曹をつけ、やさしくこする。
- ③充分水洗いまたは水ぶきする。



<注意>目に見えないキズがつき、使用後表面の光沢が失われる場合があるので試してから使ってください。

●便器に付いた汚れは

便器内に水中の鉄分が付着し、筋状の汚れになると、簡単には落ちません。まず、右の洗面ボール同様、クリームクレンザーまたは重曹で落とします(古い歯ブラシを使うと便利)。それでも落ちないときは、左図のように耐水サンドペーパー(1200番程度)を使います。



サンドペーパーを巻いて石鹸を流す。割り箸を流す。割り箸を流す。割り箸を流す。

窓

窓の外側はホコリや泥がつきやすいところ。汚れが軽いうちに、こまめに落としておきましょう。きれいな窓は、住まい全体を明るく清潔な印象にします。



ここをチェック！

- 窓ガラスに汚れがこびりついていないか。
- サッシ枠に泥がこびりついたり、ブツブツと白いサビが出ていないか。
- レールの隅にホコリや泥がたまっていないか。
- サッシに傾きは無い。開閉はスムーズか。
- クレセント(サッシ錠)はきちんとかかるか。

ふだんのお手入れ

窓の外側にホコリや泥がこびりつく、落とすのはひと苦労。でもお掃除をらくにするコツがあります。

- ① 汚れはこびりつかないうちに、こまめに落とす。
- ② 汚れは、雨の後に湿気で汚れがゆるんだときに落とす。
- ③ 体に負担をかけない便利な道具を利用する。

窓ガラス(外側)

週に一度、ポリバタキかやわらかい布で、ホコリや泥を払います。月に一〜二度(雨風の多い季節は汚れ具合に応じて)、お湯で絞った布で

ふき、その後からぶきします。ガンコな汚れは、住まいの洗剤を薄めたものをつけてふき、その後に水ぶき、からぶきをしてください。

窓ガラス(内側)

週に一度、ポリバタキかやわらかい布でホコリを払います。お湯ぶきは、季節に1回程度でよいでしょう。ただし、キッチン、浴室の場合は、次の点に注意してください。

キッチン：調理で飛び散った油がこびりついています。油汚れは住まいの洗剤か台所用洗剤を水で薄め、布につけてこすり落とし、その後水ぶき、からぶきをしましょう。ガラス面に凸凹がある飾りガラスは、ナイロンタワシや歯ブラシを使って落とします。
浴室：窓に水滴がついたままにして

ゴム枠

おくと、ゴム枠のカビの原因になります。入浴後は水滴をふき取りましょう。結露などが原因で、ガラスの縁のゴムに黒いカビがつくことがあります。そんなときは、カビ取り剤をつけて少し時間をおき、歯ブラシなどでカビをこすり落とした後、水ぶきします。カビ取り剤は、流れにくいゼリー状のもので効果的です。

〈注意〉
ゴム部分にあまり頻繁に塩素系カビ取り剤を使用すると、ゴムの劣化につながります。

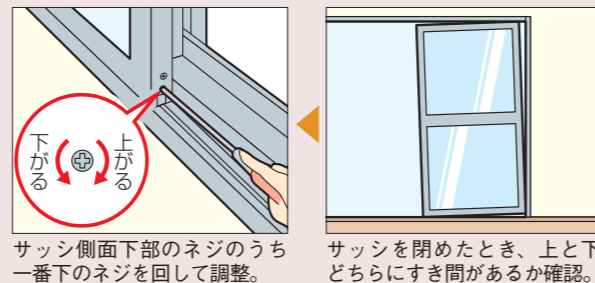
サッシ枠

ふだんのお手入れや汚れの落とし

サッシの建て付け調整

戸車の調整

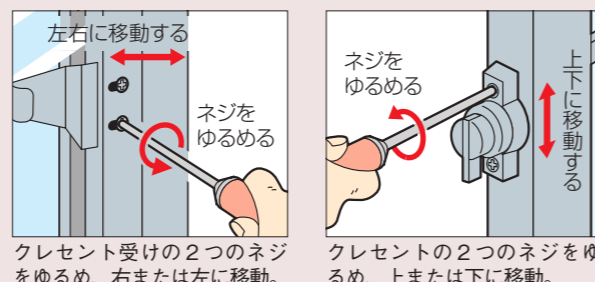
●サッシが傾いているらサッシを閉めたとき、上か下に少しでもずき間ができるようなら傾いている証拠。サッシがレールと平行になるように戸車のネジを回し、サッシの高さを調整します。戸車調整ネジは、サッシ側面に付いています。右に回せばサッシが持ち上がり、左に回せば下がります。様子を見ながら少しずつネジを回してください。〈注意〉サッシを下げるすぎると、上部レールからはずれる危険があります。上部レールに6ミリはかかるようにしてください。



サッシ側面下部のネジのうち一番下のネジを回して調整。

クレセントの調整

●クレセントがかかりにくいときはクレセント(サッシ錠)をかける際、きつかったり、クレセント受けにぶつかるようなら、「クレセント本体」または「クレセント受け」の位置を移動します。上下に移動したい場合は「クレセント本体」のネジをゆるめて動かし、左右に移動したい場合は「クレセント受け」のネジをゆるめて動かし、調整後再びネジを締めなおきます。〈注意〉クレセントのネジはゆるめるだけではずさないこと。はずすと裏金具がサッシ内に落ちてしまうタイプもあります。



クレセント受けの2つのネジをゆるめ、右または左に移動。

特殊な窓の掃除

●高い位置にある窓は
トップライトや階段の窓、そして2階の出窓やめ殺し窓の外側は、手が届かずお掃除がしにくいところ。伸縮自在の柄が付いたモップやスクイージーを使うとらくにお掃除できます。



室外側は洗剤液をつけた後、スクイージーで上から下へ水滴をかき取る。

●ジャロジー(ルーバー)窓は

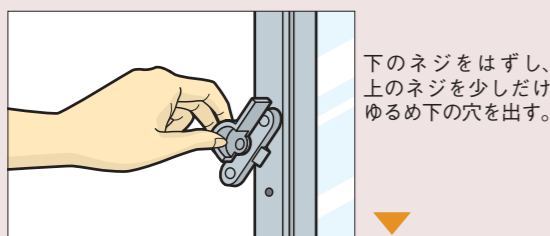
浴室やトイレに多いジャロジー窓は、ガラスの羽根を水平にすれば、室内側からガラスの両面をふくことができます。



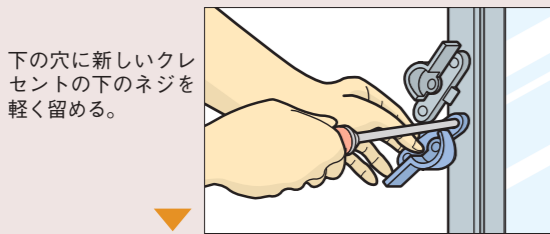
羽根を水平にすれば、ガラスの外側も室内側からふくことができる。

クレセントの交換

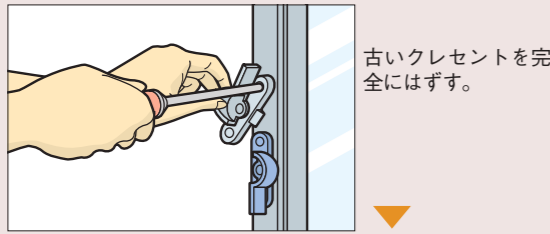
●クレセントが破損したら
かかりにくいクレセントを無理に締めていると、負担がかかり破損することがあります。そんなときは、住宅タイプに合ったクレセントを取り寄せ(※)、下の要領で交換してください。クレセントにはたくさんの種類がありますから、お手元の住宅部品カタログで確認の上、ご注文ください。色や形が違っていても、交換方法はすべて同じです。



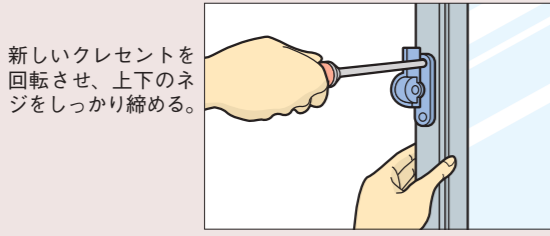
下のネジをはずし、上のネジを少しだけゆるめ下の穴を出す。



下の穴に新しいクレセントの下のネジを軽く留める。



古いクレセントを完全にははずす。



新しいクレセントを回転させ、上下のネジをしっかりと締める。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

網戸

網戸は雨風が直接当たるところ。目立たなくてもホコリや汚れがついています。さわやかに夏を過ごせるよう、網戸の汚れはきれいに落とし、建て付けなどの不具合も直しておきましょう。



ここをチェック!

- 網にホコリや汚れがこびりついていないか。
- サッシ枠に泥がこびりついていないか。
- 網に破れやほつれがないか。
- レールの隅にホコリや泥がたまっていないか。
- 網戸の開閉はスムーズか。
- 網戸がレールからはずれることはないか。
- 戸車が摩耗したり破損していないか。

ふだんのお手入れ

網戸

ホコリを払う

網戸についた砂やホコリをそのままにしておくと、風といっしょに砂やホコリも室内に入り込んでしまいます。週に一度は、ポリバタキや網戸用ブラシなどを使い、ホコリを払っておきましょう。

掃除機でホコリを吸い取る

掃除機を使う場合は、網戸の片面に新聞紙を貼り付け、反対側から網面に掃除機をかけると吸い取りやすくなります。ブラシ付きのノズルを使えば、さらにきれいに取ることができます。網は力をかけすぎるとたるんでしまいます。ブラシでこすらずにすむようにします。

う、こまめにポリバタキなどでお掃除しておくほうが長持ちします。

汚れの落とし方

網戸

ホコリや汚れがこびりついてしまったら、次の方法で落とします。

スポンジに洗剤をつけてふく

① 2個のスポンジに住まいの洗剤を薄めたものをつけて軽く絞り、網を両側からはさむようにしてこする。ただし、力を入れすぎると網がたるむことがあるので、やさしくこすること。
② その後、水ぶきして洗剤分をきれいに落としてから、さらさらからぶきして水気を取る。

網戸をはずして洗う

- ① 網戸をレールからはずす。
- ② 水をかける前に、乾いたブラシなどでできるだけ砂やホコリを取り除く。
- ③ 住まいの洗剤を水で薄めたものを網戸用ブラシか洗車ブラシにつけ、軽くこする。
- ④ ホースで水をかけ、洗剤をきれいに洗い流す。

〈注意〉

網は力がかかるとたるむことがありますから、勢いよく水をかけないでください。また、アルミのサッシ枠はアルカリに弱いので、アルカリ性の洗剤を使った場合はよく洗い流しましょう。

網戸のはずし方

通常の窓

- ① 網戸サッシ上部にあるはずれ止めの



このように網戸を横または下にスライドさせ、すき間から取り出す。

- ① 通常の窓と同じように、はずれ止めを下に下げる。
- ② 室外側から面格子の中に入れて、網戸をレールからはずす。
- ③ はずした網戸を横または下にスライドさせ、面格子と外壁のすき間から取り出す。

面格子付き窓

ネジをゆるめ(左ページ上段参照)、はずれ止めを下に下げる。
② 障子や襖をはずす要領で、網戸を持ち上げながら下のレール、上のレールの順にはずす。

網戸の建て付け調整

はずれ止め調整

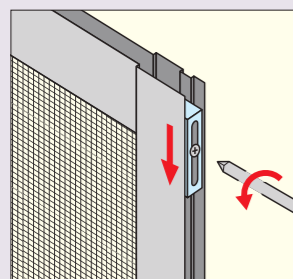
● 網戸がはずれやすいときは、網戸は、強風などで簡単にはずれないよう、上部に「はずれ止め」が付いています。

この位置が低過ぎると網戸がレールからはずれやすく、高すぎるとすべりにくくなります。はずれ止めが上部レールに5〜6ミリかかる程度にセットしてください。

はずれ止めの形や仕様は住宅のタイプによって異なりますが、ネジの位置は左のいずれかです。ネジをゆるめ、はずれ止めがレールに5〜6ミリかかる程度に引き上げてから、ネジをしっかき締めしてください。



網戸の室外側にネジがあるタイプ



網戸の側面にネジがあるタイプ

戸車交換

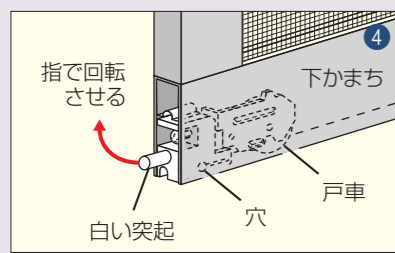
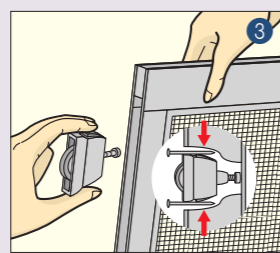
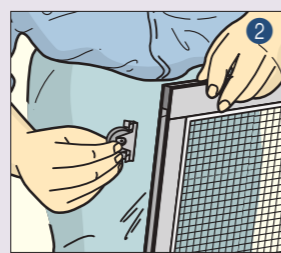
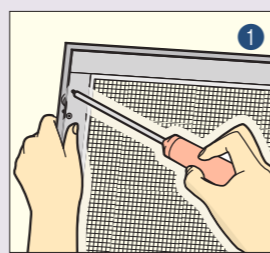
● 戸車が摩耗・破損していたら、新しい戸車(*)を取り寄せて交換します。

戸車には、ネジで止めるタイプと指で差し込むタイプがありますが、おおよそ次の4つのタイプに分類できます。
【ネジ止めタイプ】① 固定ネジをはずし、新しい戸車に交換します。ネジは1ヶ所のタイプと2ヶ所のタイプがあります。

【差し込みタイプA】② 戸車の位置にネジも穴もない図②のようなものは、ドライバーでこじめるようにして戸車を引き出し、交換します。

【差し込みタイプB】③ 戸車の頭に高さ調整ネジがついているタイプは、ネジ釘などで両側のツメを押さえて取り出し、交換します。

【差し込みタイプC】④ 網戸下枠の端に小さな穴、側面に白い突起があるものは、突起を指で押し上げ、戸車を90度回転させてから、戸車を下に引っ張り出し交換します。



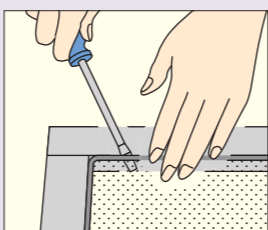
網戸の張り替え

● 網が傷んできたら、網が破れたり、汚れが著しいときは、新しい網(*)に張り替えましょう。

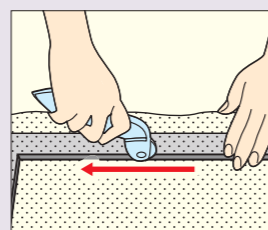
① 右ページの「網戸のはずし方」を参考に、はずれ止めを下げ、網戸をはずす。
② はずした網戸を平らな面に置く。マイナスイオンドライバなどを使って古いガスケットを溝から取り出し、古い網をはずす。(このときサッシ枠全体を洗い、ガスケットの溝もきれいに掃除しておきましょう。)

③ 新しい網をサッシより少し大きめに切り、網目と枠が平行になるようにして枠の上に広げ、ガスケットをはめ込む。
【ゴム製ガスケットの場合】
まずガスケットをピンと張って四隅と各辺の中心をはめ固定。網戸ローラーを使って網にたるみが出ないように注意しながらはめ込む。
【プラスチック製(棒状)のガスケットの場合】
両手の親指で押しながらはめて固定し、最後に木片を当て金づちでたたいてはめ込む。

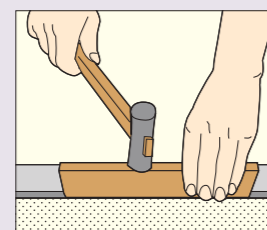
④ 余分な網をカッターで切って完了。網がたるんでいたら、ドライヤーの熱を遠目に当てるとピンとなる。



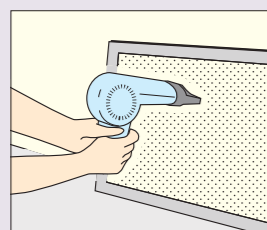
サッシ枠をキズをつけないよう注意してガスケットを取り出す。



ゴム製ガスケットは各辺の中心から角に向けてはめ込む。



棒状ガスケットは手ではめした後、木片と金づちではめ込む。



ドライヤーは近づけすぎないように遠くから平均にかける。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

雨戸 シャッター

日中は収納しておくので
汚れに気づきにくい部分。
風雨にさらされ、
ホコリや泥ハネが
つきやすいところですから、
月に一度は次のような
点検をしましょう。



ここをチェック!

- 外側に泥がこびりついていないか。
- キズやサビがついていないか。
- 雨戸やシャッターのすべりが悪くないか。
- レールに泥や落ち葉がたまっていないか。
- 戸袋からの出し入れはスムーズか。
- 雨戸を閉めたとき、雨戸と雨戸の間にすきまができていないか。

ふだんのお手入れ

スチール製の雨戸は、積もった汚れがサビや腐食の原因にもなります。季節に一度、少なくとも半年に一度は念入りにお手入れをしましょう。

雨戸

週に一度くらい、やわらかい布でかぶきし、外側のホコリや砂を払いましょう。雨の後などの泥はねは固くしぼった雑巾で落とします。

半年に一度は、雨戸をはずしてこびりついた汚れを落としたいもの。ホースで水をかけながら、スポンジか洗車ブラシで汚れを洗い流します。ガンコな汚れは、中性洗剤をぬるま湯ですすめたものをスポンジにつけてこすり落とし、その後は水洗いしておき

ます。水気が乾いたら、全体にカーワックスを塗っておくと、ホコリや湿気がつきにくくなり、サビの予防にもなります。

レール

レールにたまった泥や落ち葉をブラシでかき出すか、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。レールの隅は、割り箸の先にボロ布を巻きつけてぬらし、汚れをこすり落とします。その後、シリコン系潤滑剤を吹きつけておくとすべりがよくなります。

戸袋

レールと同様に、泥や落ち葉を取り除いた後、内側に潤滑剤を吹きつけます。戸袋エンド(戸袋の一番奥)に念

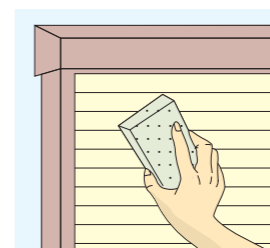
入りに吹きつけておくと、雨戸が出し入れしやすくなります。

戸車

表面についた汚れをふき取り、破損や摩耗がないかを点検します。とくに戸車の心棒に潤滑剤を吹きつけておくと、回転がよくなり、レールをキズつけることもありません。

シャッター

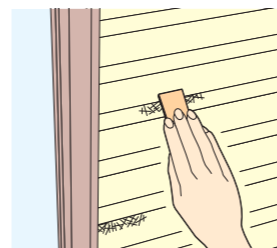
やわらかい布で水ぶきし、ホコリや泥を落とします。ガンコな汚れは、中性洗剤をぬるま湯でうすめ、スポンジでこすり落とし、さらに水ぶきします。左右のガイドレールやロック部分に潤滑剤を吹きつけておくと、すべりがよくなります。



(注意)
スポンジで汚れをこすり落とした後、ホースで水洗いする場合は、シャッターケースに水が入らないよう気をつけてください。

サビは早めに補修

雨戸にキズがついたり、そこからサビが出た場合は、早めに手当てしておきましょう。



280~320番くらいのサンドペーパーで、サビを落とし、サビや粉塵を取り除いてから同色系の水性塗料を少し厚めに塗る。

雨戸のはずし方

雨戸は住まいのタイプによって、2通りのはずし方があります。

●戸袋ガイドをはずして...

戸袋ガイドをはずし、戸袋から引き出してはめます。①戸袋上下の2ヶ所にある戸袋ガイドのネジを抜き、ガイドを上下ともはずす。

②戸袋内の雨戸を横にスライドさせて取り出す。

ネジがさびて戸袋ガイドがなかなかはずれない場合は、潤滑剤を差し、しばらくおいてからはずしましょう。無理な力を入れてネジの山をこわさないようにしてください。

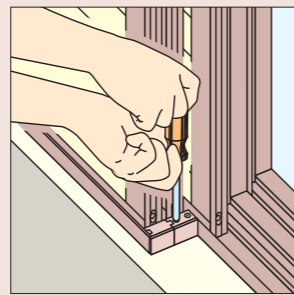
●レール上で持ち上げて...

ツューホームの一部のタイプでは、レール上で持ち上げてはずすことができます。

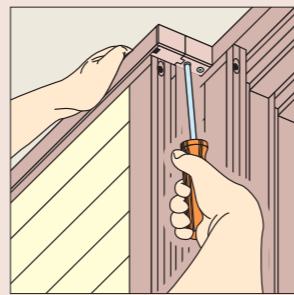
①雨戸を戸袋から出して、レールの中央付近へ移動する(上部レールの1ヶ所に、はずれ止め金具がついているのでその部分は避ける)。
②室外側からいったん上に持ち上げ、手前にはずす。



室外側に立ち、障子や襖をはずす要領で持ち上げてはずす。



ネジ山をこわさないように注意してはずす。



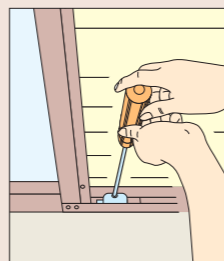
戸袋ガイドは、雨戸の上下2ヶ所にある。

戸車の高さ調整

雨戸には1枚に2個の戸車がついています。戸車の高さが不揃いだると雨戸はスムーズに移動しません。雨戸の内側の戸車上部に突き出ているネジで高低を調整します。

①ネジを右に回すと戸車が押し出され、雨戸は持ち上がる。

②ネジを左に回すと戸車が押し込まれ、雨戸は下がる。



雨戸とレールが平行になるように調整する。

戸車の交換

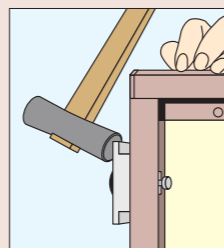
戸車が摩耗していたり、破損している場合は、2個とも同時に交換します。戸車ははめ込み式ですから簡単に取り付けられます。

①住まいのタイプに合った雨戸用戸車(※)を用意する。

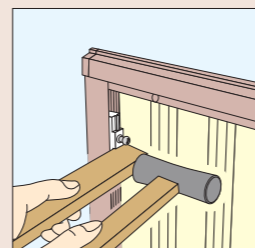
②雨戸をはずす。

③古い戸車は、木片を当て、金つちでたたき出す。

④新しい戸車を、外側から手で差し込み、金つちで軽くたたいて入れ込む。

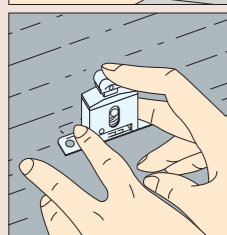
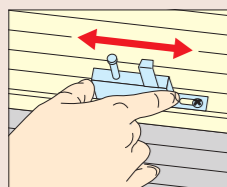


ローラー部分はたたかないようにして入れ込む。



戸車のネジの両側を交互にたたき、雨戸を傷つけないよう木片を当てる。

落とし錠と鍵穴の調整



落とし錠のロック(鍵)棒と鍵穴がずれて、ロック棒が下りなくなることがあります。この場合は落とし錠(タイプによっては鍵穴)の位置をずらして合わせることで調整できます。

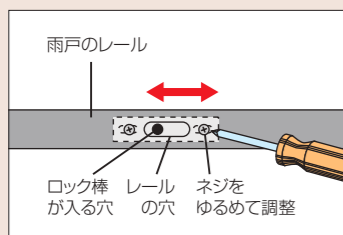
●落とし錠の位置を変える

①落とし錠の両側にあるネジをゆるめる。

②ロック棒を押しながらレール上の鍵穴位置を確認する。
③鍵穴とロック棒が一致したら、その位置で落とし錠のネジを締めて固定する。

●鍵穴の調整は

①鍵穴の両側の2つのネジをゆるめる。2つとも、ゆるめるだけではずさないこと。



鍵穴を少しずつ動かして、ちょうどよい位置を探す。

②鍵穴プレートが動くようになったら、鍵穴の位置を決める。プレートはドライバーなどを鍵穴にさし込んで動かすとよい。
③鍵穴の位置が決まったらネジを締めプレートを固定する。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

カーテン・ブラインド

毎日床に掃除機をかけ、柵や棧をふいても、カーテンやブラインドは忘れがち。部屋の掃除をするついでに、ちょっと手を伸ばし、カーテンやブラインドのホコリも落としておきましょう。



ここをチェック!

- ひだにホコリがないか。
- カーテンレールやカーテンボックスの上にホコリがないか。
- タバコのヤニで布地が黄ばんでいないか。
- カーテンの裏側に結露によるシミ・カビがないか。
- タッセルが汚れていないか。
- ブラインドの羽根は汚れていないか。
- キッチンブラインドに油污がついていないか。
- 浴室や洗面所のブラインドにカビがないか。
- ブラインドの開閉、上げ下げがスムーズにできるか。

ふだんのお手入れ

カーテン

週に一度、時間に余裕のある日を選び、掃除の前にハタキや洋服ブラシでカーテンやタッセルについたホコリを払い落とします。カーテンに直接掃除機をかけ、ホコリを吸い取るのもよいでしょう。

カーテンレールの上もホコリがたまりやすい場所です。固く絞った雑巾でホコリをふき取ります。「○曜日」はカー



ブラシのついたノズルをつけると、ひだの部分のホコリもらくにとれる。

テンの日」という具合に習慣にしてみようと、案外おっくうにならずにできるものです。

「カーテンを長持ちさせるには」

ドレープカーテンは月に一度、少なくとも季節に一度は天気の良い日に外に干し、ふとんたたきの要領でたたいたり、ブラシをかけたりして、布の目につまったホコリをたたき出します。強くたたくと布の繊維を傷めるので軽めにたたきましよう。こうしておけば頻繁に洗濯をする必要はありません。洗濯回数が少なければ縮みや傷みも少なくなります。

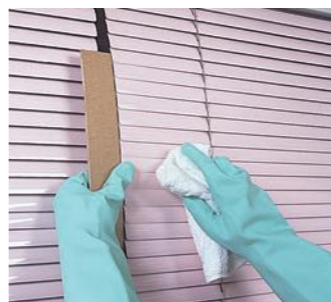
ブラインド

ブラインドを下まで全部下ろした状態で羽根を閉じ、ハタキやハンドモップ、化学雑巾などでホコリを落とします。片面がすんだら羽根を回転させ、



ブラインドクリーナーを使えば、羽根をはさみ、左右に移動させるだけで両面のホコリがとれる。

裏面も同様にしましょう。部屋のブラインドは、月に一度くらい固く絞った雑巾で水ぶきをするとさらにきれいになります。ブラインドは汚れがこびりつくとも時間がかかる大仕事になってしまいます。長く美しく使うには、定期的なお手入れが大切です。



裏にダンボールなどの板状のものを当てると、羽根が揺れず、力を入れてふける。

ロールスクリーン・ローマンシェード

ふだんのお手入れはカーテンと同じ、ホコリを払い落とすだけです。ロールスクリーンは布に樹脂加工したもので洗濯ができませんが、ローマンシェードは布製ですから、カーテンと同じように絵表示に従って洗濯してください。

カーテンの洗濯

●洗濯のタイミングは

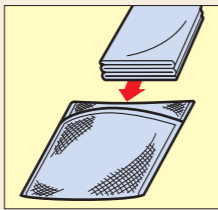
レースのカーテンは少なくとも半年に1回、ドレープなどの厚地のもので1年に1回は洗濯しましょう。

最近はポリエステルなどの洗える素材が多くなっていますが、水洗いできない素材（たとえば収縮率の大きい綿素材や、風合いが大切なウール系の素材）もあります。洗濯の前にカーテンの裏側についている洗濯絵表示と収縮率を確認しましょう。手作りカーテンやオーダーカーテンなど、洗濯絵表示がない場合の目安は左表の通りです。素材がはっきりしない場合は、信頼できるクリーニング店で品物を見せて洗濯法を確認します。

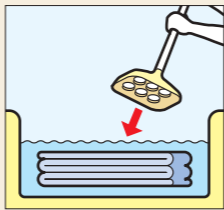
【家庭での洗濯の仕方】

- ①フックを全部はずす。
- ②洗いおけに洗剤液をつくり、軽くたたんで入れる。
- ③手で押し洗います。
- ④すぎは水を替えて同様に押し洗います。
- ⑤軽く脱水し手早く取り出す。
- ⑥レースなど薄手のものは、そのまま元のカーテンレールに吊りして自然乾燥。厚いものは外で干し、生乾きの状態になったらレールに吊す（こうするとシワになりにくい）。

洗濯機で洗う場合は、蛇腹状にたたんでネットに入れ、弱水流し洗います。洗濯時間は大きさや素材で違いますが、薄いレースなどは2〜3分です。



カーテンやタオルケット用の大きなサイズのネットに入れて洗濯機に。



洗濯機で洗うときは、湯かき棒で大きなカーテンを入れ、湯かき棒で押し洗う。

カーテンの種類と洗濯のしかた

種類	特徴	主な素材	水洗い	ドライ	洗濯回数
レース	透視性のある薄手のカーテン	ポリエステル	○	○	半年に1度
ケースメント	ドレープとレースの中間	ポリエステル	○	○	半年に1度
ドレープ	太い糸で織った厚手のカーテン	ポリエステル	○	○	1年に1度
プリント	無地に模様を染めたもの	綿	×	○	1年に1度
特殊カーテン	特殊加工した遮光遮熱カーテン	ポリエステル	×	○	1年に1度

洗濯絵表示の例

塩素系漂白剤による漂白ができる。	塩素系漂白剤は短時間で。	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で。	ドライクリーニング可。溶剤はパーフルオロエチレンまたは石油系を使用。	水洗いはできない。	液温は40°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる。

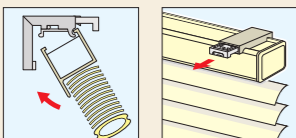
ブラインドの汚れの落とし方

こびりついた汚れやタバコのヤニ、浴室ブラインドのカビなどは、住まいの洗剤をスプレーするか、厚めの布にしみこませ、羽根を1枚ずつふいていきます。さらに雑巾で水ぶきして洗剤を落とします。キッチンまわりの油污は、住まいの洗剤の代わりに台所用洗剤をつけて同様に落とす場合もあります。

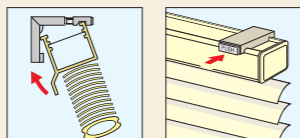
はずし方&はめ方

ブラインドは、窓枠に固定するブラケット（金具）のタイプによってははずし方が異なります。

【スライドロックタイプ】スライドロックを引き出し、少し抵抗感のあるところから、さらにもう一段引き出し、ヘッドボックスの奥側から引き下ろします。

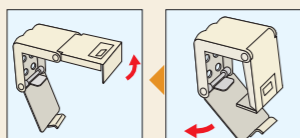


はまる音がするまで押し込んでセットする。



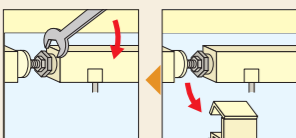
スライドロックを引いてはずす。

【ボックスタイプ】ブラケットの下部を押し下げ、ヘッドボックスを落とさないように注意して取り出して、ブラインドをはずします。

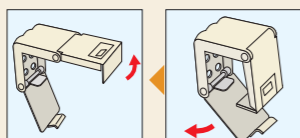


ヘッドボックスを取り出してはずす。

【側面付けブラケットタイプ】ブラケットカバーをはずし、ロックナットをゆるめます。はめるときは、もう一方の側を両面テープで仮止めすると作業がしやすくなります。



スパナでロックナットをゆるめてはずす。



留め具の下からはずす。



はずしたブラインドを浴室の床に広げ、羽根を閉じた状態でスポンジで両面を洗い、ホースやシャワーで水洗い。

照明

ふだんのお手入れ

照明カバーやランプには室外ホコリや汚れがついているもの。一般に半年間のホコリで、10〜30%明るさが低下するといわれています。汚れやすいキッチンなどはそれ以上です。月に一度、少なくとも季節に一度は、ホコリや汚れを落としましょう。

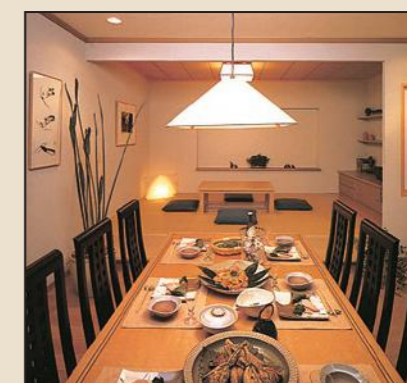
照明カバー

ふだんはハタキなどでホコリを払っておきましょう。

プラスチックやガラスのカバーは月に一度は洗剤をふききましょう。中性洗剤を溶かした水で雑巾を絞って、汚れをふき取って水ぶきします。

ふちにメッキ部分のあるものは水分がつくとサビや変色の原因になるので、

高いところにある照明器具は、ホコリや汚れを見逃しがち。汚れたままにしておくと、明るさを損なうばかりか、目の疲労の原因にもなります。健康のためにも、こまめにお手入れしましょう。



ここをチェック!

- カバーや電球にホコリや汚れがついていないか。
- カバーの中に虫の死骸が入っていないか。
- カバーにひび割れや変形がないか。
- 器具の取り付け部にガタつきやゆるみはないか。
- 蛍光灯がチラついたり、両端が黒ずんだりしていないか。
- 異常な臭い・発熱はないか。
- スイッチ部分が手アカなどで汚れていないか。

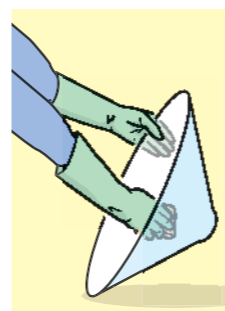
を使う場合は足元に気をつけましょう。

コード・チェーン

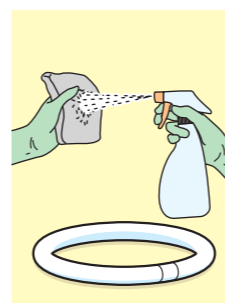
階段やダイニングのペンダント式照明は、コードやチェーンにもホコリが付きまします。食卓の上でホコリが積もっているのは不衛生です。ハタキなどでホコリを落とし、常に清潔に保ちましょう。

スイッチ

スイッチカバーは手アカなどで汚れています。中性洗剤の溶液を少しつけて汚れをふき取り、その後水ぶきからぶきします。スイッチには電流が流れていますから、水ぶきするときは必ずブレーカーを切ってください。



洗剤をつけたスポンジで外側内側とも洗い、その後きれいに水洗いする。



電球や蛍光灯本体をぬらさないよう、洗剤は必ず雑巾のほうにスプレーする。

キッチンやダイニングは油汚れが、リビングやダイニングはタバコのヤニがつきやすいところ。はずせるカバーは、電源を切った後、電源を切った後、住まいの洗剤で洗うときれいになります。

はずせるものははずして

キッチンやダイニングは油汚れが、リビングやダイニングはタバコのヤニがつきやすいところ。はずせるカバーは、電源を切った後、電源を切った後、住まいの洗剤で洗うときれいになります。

ランプの交換

白熱灯は寿命がくるまで一定の明るさを保ちますが、蛍光灯は点灯時間の経過とともに明るさが低下して、チラツキも多くなります。一定時間使用したら交換しましょう。交換の目安は、両端に黒ずみが現れたとき。黒ずみが出ると点灯しにくくなり、点灯時の消費電力も多くなるので、早めに交換したほうが経済的です。

- ランプ交換の手順は
- ①スイッチを切る。
 - ②カバーをはずす。
 - ③ランプを取り替える。
 - ④カバーを取り付ける。
 - ⑤スイッチを入れ、点灯するかどうかを確認する。

ランプの種類と取り替え時期		
種類	平均寿命	取り替え時期の目安
白熱灯 (60w)	1000時間	1年以内で1000時間経過時
直管蛍光灯 (20w)	7500時間	4年以内で5000時間経過時
直管蛍光灯 (15w)	5000時間	3年以内で3600時間経過時
環状蛍光灯 (30w)	5000時間	3年以内で3600時間経過時
LED (8w)	40000時間	10年以上

照明カバーのはずし方

プッシュ式

※取り付けるときは、本体のボタンの位置にカバーのプッシュボタンを合わせて押し上げる。

ネジ込み式

※取り付けるときは、カバーを右に回転させて本体にねじ込む。

落とし込み式

※取り付けるときは、逆の手順で片側を引っかけてから、もう一方も引っかける。

レバー式

※取り付けるときは、レバーを右に引いてカバーをかぶせ、その後レバーを戻してセットする。

Vバネ式

※取り付けるときは、片方ずつVバネを絞りながらカバーの金具に通し、最後にカバーを押し上げて本体に固定する。

回転式

【天井付け】

※取り付けるときは、カバー内側のくぼみと本体内部の金具が合うようにカバーをはめ込んでから、右(時計回り)に止まるまで回してしっかり取り付ける。

【壁付け】

カバーのはずし方は照明器具によって異なります。ここでは代表的なものを選び、はずし方を紹介しておきます。その他の器具については取り扱い説明書で確認してください。説明書がなく、はずし方がわからない場合は、無理をせずファミエスか電気店にお尋ねください。

外まわり

ふだんなかなか手入れをしない外壁やバルコニーなどの外まわり。風雨にさらされる場所なので、思いのほかホコリや汚れがつく場所です。季節に一度は総点検し、お手入れしておきましょう。



ここをチェック！

- 軒にクモの巣が張っていないか。
- 樋やポーチの柱などの金属部に汚れやキズがないか。
- 外壁に汚れやキズがないか。
- 北側や日陰の壁にコケやカビがないか。
- キッチン換気扇の下に油汚れがないか。
- 窓の下に雨水の汚れがないか。
- 手すりに汚れやキズがないか。
- バルコニーの床材がきれいか。
- バルコニーの排水口に枯れ葉やゴミがつかっていないか。
- 基礎通気口をふさいでいないか。
- 基礎にコケが生えていないか。

ています。

バルコニー

バルコニーの床仕上げはデッキ材や人工芝などですが、どちらも手入れの仕方は同じです。ゴミや枯れ葉を取り除いて、水洗いをします。手すりは、アルミ製で焼き付け塗装仕上げです。外壁の金属部分と同様に雑巾でふいておきます。



床と壁の間にゴミがたまると、排水を妨げ縦樋の詰まりの原因になるので、こまめに取り除くこと。

金属製の柱や手すり

ポーチの柱や手すりなどには塩ビ鋼板やアルミが使われています。汚れやキズのつきにくい素材ですが、ふだんは水ぶきで充分。固く絞った雑巾で汚れをふき取ります。もし、表面の塗膜にキズ、ひび割れが生じた場合は、ファミエスへご連絡ください。

基礎

基礎は鉄筋コンクリート製です。とくにお手入れの必要はありませんが、コンクリートにコケやカビがついた場合はブラシで洗い落とします。床下換気口のまわりには通気を妨げるものを置かず、風通しをよくしておきましょう。基礎点検口用には、ネズミや虫の侵入を防ぐ防虫ネット(*)もご用意し

外壁

ハイムの外壁の多くは、硬質木片セメントやアルミ板に、アクリル系塗装やリシン吹き付け塗装をしたもの。ツリーホームは、硬質木片セメントにアクリル系弾性塗装をしたものです。どちらも水を吸いにくい素材ですが、ふだんのお手入れも水洗いが基本です。洗車用の柔らかいブラシやスポ



外壁は年2回、キズ・カビをチェ住ボエ住ボが、なは塗り替え不要。

固いもので強くこすると壁面にキズが付きまます。金属タワシやワイヤブラシは使わないようにしてください。



外壁を洗うには、ホースをつなぎ、水をかけながら洗えるブラシが便利。

外壁のガンコな汚れの落とし方

雨水の汚れ

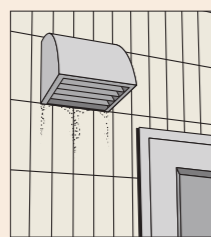
雨水が窓枠や手すり伝いに壁に落ちるとできる黒い筋状の汚れは、手入れを怠ると出てきます。**洗車の要領で**「ホワイト車専用の水アカ、汚れとりワックス」をスポンジにつけ、上からこするようにつけて落とします。**※使いやすいのは固形や半固形のものより液状タイプです。**



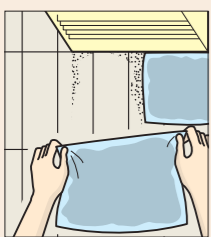
放っておくと色が濃く落ちにくくなるので注意。



ワックスをスポンジにつけ、上からこするようにつけて落とす。



換気扇の下の油汚れは落ちにくいので早めにお手入れを。



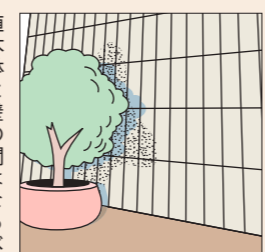
洗剤液を染み込ませたペーパータオルを貼り付け、湿布する。

油汚れ

キッチンの換気扇の下の外壁にできます。ゴミやホコリが付着してガンコな汚れになります。**油を浮き上がらせて**台所用中性洗剤をぬるま湯に溶かし、ペーパータオルに染みこませて油汚れの上に貼り付けます。汚れが浮き上がってきたらペーパーを取り除きスポンジですり落とします。

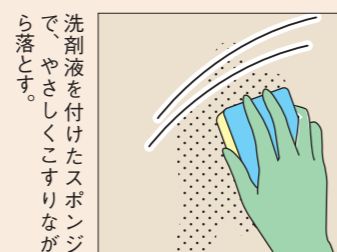
カビ・コケ

日の当たらない外壁や、植え込み・鉢などで陰になる部分の壁は、カビやコケが生えやすいところ。定期的な点検し、見つけたらすぐに落としましょう。



植木鉢と壁の間はなるべく広くとり風通しをよくする。

洗剤を付けたスポンジでスポンジに中性洗剤を付けて洗えば、カビやコケもある程度キレイに落とすことができます。**①**台所用中性洗剤をぬるま湯に溶かし、汚れに吹き付ける。**②**スポンジですりながら落とし、細かい凹凸に入り込んでいたらポンポンとたたくようにしてかき出す。**③**最後に水洗いをして、洗剤をきれいに落とす。



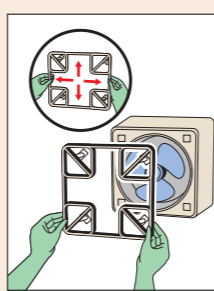
洗剤液を付けたスポンジでやさしくこすりながら落とす。

〈注意〉

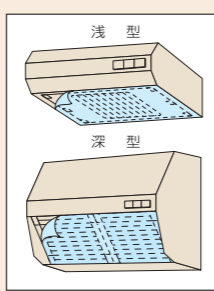
●外壁は固いものでこすると、キズが付きまます。必ずやわらかいブラシかスポンジを使用してください。
●高い場所を洗うために脚立などを使う場合は、地面の平らな部分に置いて固定し、足元に注意してください。

油汚れをつけない工夫

外壁の油汚れを防ぐには、できるだけ油分を排気口の外に出さないこと。キッチンの換気扇やレンジフードに市販の不織布カバーをつけるだけで、外壁の汚れはかなり防げます。



換気扇のプロペラタイプには、伸縮自在の枠付きフィルターが便利。



レンジフードにはシート状フィルターを切って、マグネットなどで固定するとよい。

外壁の洗浄・塗り替え

外壁全体を洗浄すると、見ちがえるほどきれいになります。入居後5年を経過していたら、一度ファミエスに相談ください。また、時期が来たら、外壁全体の塗り替えが必要です。外壁塗り替えにおける最大のキーワードは「安心」。ていねいな施工とセキスイの住まいを知り尽くしたファミエスにおまかせください。

*印の住宅部品は、ハーモネットショッピングクラブで扱っています。お手元の「保存版住宅部品カタログ」を参照のうえ、お申し込みください。

皆様からの「？」にお答えします お手入れ相談室

「お手入れの仕方がわからない」「こんなときはどうするの?」...
このページでは、皆さまから寄せられたお手入れのご質問に対し、詳しくお答えいたします。
ぜひ参考にしてください。

キッチンの油汚れは...

Q レンジにこびりついた油汚れに苦労しています。力まかせにこすれば、キズがつきそうで...。何かいい方法はありませんか。

A まず、ゴトクなどはずせるものははずしてつけ置き洗いをします。つけておくことで汚れがゆるみ、落としやすくなります。
① 大きめの容器にぬるま湯を入れ、台所用洗剤かつけ置き洗い用洗剤を溶かします。
② 30分以上つけ置き、汚れがゆるんだらこすり落とし、最後に水洗いします。レンジのほすせない部分には住まいの洗剤を吹き付けて、「湿布」します。
③ 汚れの上に弱アルカリ性の住まいの洗剤を吹き付け、ラップかティッシュペーパーをかぶせて30分以上おきます。
④ 汚れがゆるんだらボロ布でふき取り、さらに水ぶきをしておきます。



洗剤を吹き付けた後、ラップをかぶせて湿布すると汚れがゆるんで落としやすい。

浴室のカビの取り方は...

Q お風呂のゴムのパッキン部のカビに困っています。カビの取り方を教えてください。

A 「相談のゴムのパッキン部」というのは、洗い場と壁の境目や、浴槽と壁との境目のコーキング部(すき間をふさぐ充填剤)のことです。コーキング部はゴムに似た弾力性のある素材(シリコン)で、ここにしみ込んだカビは、一般のカビ取り剤では、なかなか落とすことができません。
おすすめしたいのは、ゼリー状の塩素系カビ取り剤。液体と違いカビの上に長時間滞留し、徐々に浸透するので、しみ込んだカビもかなりきれいにすることが出来ます。次の要領でお手入れしてみてください。
① マスキングテープで周囲を保護してから、カビの上にゼリー状のカビ取り剤を塗ります。



ゼリー状のカビ取り剤をカビの上につまみ塗りつける。

② 30分から1時間おいて、カビが取れたら水で洗い流します。様子を見て、カビが落ちていなければ、さらに塗って1時間おきます。

③ (注意) 塩素系カビ取り剤を使うときは必ず窓を開けて換気すること。また塩素系カビ取り剤と酸性の洗剤は同時に使わないこと。有毒ガスを発生して大変危険です。

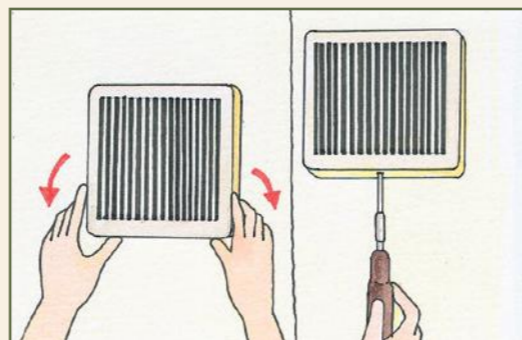
トイレ換気扇の掃除は...

Q トイレの換気扇も、定期的に掃除したほうがよいでしょうか?

A カバーがホコリだらけだと換気効率も悪くなるので、定期的に外して洗うようにしましょう。

カバーにはネジ式とはめ込み式があり、ネジ式は下のようにネジをゆるめて外します。またはめ込み式は、下部の切り欠きに指をかけて外してください。

い。プロペラも、中央のナットを回して外せるものは外します。
どちらも中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸け、スポンジなどで汚れをこすり落とします。本体や外せないタイプのプロペラは、電気配線に触れないよう注意しながら、固く絞った雑巾で汚れを拭き取ります。
(注意) 事前に必ず電源を切るようにしてください。



ネジ式は、ドライバーで下部のネジをゆるめ、両側を手前に引いて外します。



カバーの裏はホコリが付きやすいので、ブラシかスポンジでしっかり洗います。

浄化槽で使える洗剤は...

Q わが家は浄化槽ですが、お風呂掃除にカビ取り剤を使っても大丈夫ですか?

A 浄化槽は、バクテリアなどの微生物の働きで汚物を分解する装置です。そこに塩素系や酸性の洗剤が流れ込むと微生物が死んでしまい、浄化機能が低下してしまいます。

そのため、浴室やトイレ、キッチンなど水まわりのお掃除には中性洗剤か、または最近すっかりポピュラーになった重曹やお酢を使うようにしましょう。



重曹(炭酸水素ナトリウム)は、薬局などで購入できます。

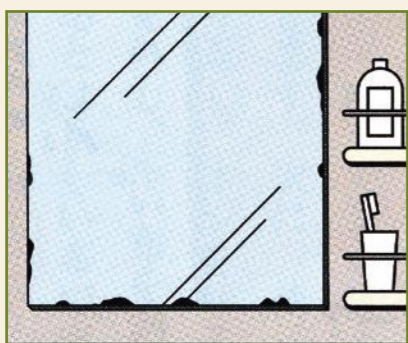
てください。重曹は粒子が細かいので浴槽などを傷つけることもなく、安心してお使いいただけます。

鏡の隅の黒いシミは...

Q 洗面の鏡の隅に半円状の黒いシミが...。広がるのを防ぐ方法がありますか?

A 鏡を長年使っていると、周辺部などに黒いシミのようなものが出てくる場合があります。これは、鏡の裏の「銀鏡膜」が洗剤などで変質し、剥がれてしまったために起こる現象です。

残念ながら元に戻すことはできませんが、広がるのを食い止めるには、お手入れの際、鏡の裏に洗剤が入らないように注意すること。万一洗剤が入っ



鏡裏面の銀鏡膜が、洗剤などの成分で化学変化を起こして剥がれると、シミのように。

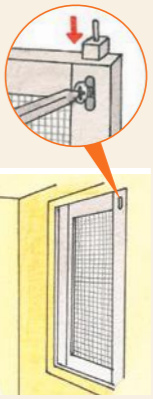
てしまった場合は、シャワーをかけ、十分に洗い流すようにしてください。

縦長窓の網戸のはずし方は…

トイレなどの縦長の窓の網戸を洗いたいのですが、外し方がわかりません。

トイレや洗面などに多い「縦すべり窓」には、ガラスの内側に網戸が付いています。

これを外すには、まず網戸上枠のコーナーにあるネジを室内側からゆるめ、回転軸となる金具を下に下げます。次にサッシ上部を手前に引いて外し、さらに下部を持ち上げて外します。



ブラストライバーで網戸上枠のネジをゆるめ、金具を下に下げます。

外した網戸は、乾いたブラシなどでホコリや砂を払い、水で薄めた中性洗剤を付けた網戸用ブラシでやさしく汚れをこすり落とします。そして、最後に水で洗剤を洗い流します。

セキスイ畳のお手入れは…

わが家の畳はセキスイ畳です。セキスイ畳のお手入れの仕方を教えてください。

基本的にはイ草の畳と同じ。ふだんは畳の目に沿って掃除機をかけ、乾いた雑巾で

からぶきしておきます。

飲み物をこぼしたり、醤油などの汚れがついたときは、すぐに水ぶきをすれば落ちます。時間が経って水ぶきで落ちない場合は、住まいの洗剤を水で

薄めてふいてください。

セキスイの畳表は天然材とプラスチックの合成材で、水をよくはじき、湿気に強いのが特徴です。イ草の畳と違ってカビが生える心配もないので、水ぶきもOK。

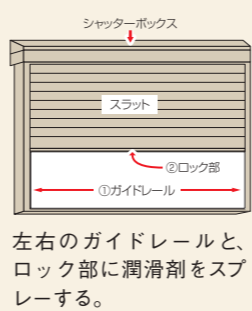
畳床も藁床ではなく、インシュレーションボードを使った化学床です。昔のように畳を干してばんばんと叩く必要はありませんが、年に一度畳をはずして風に当て、畳床にたまった湿気を取り除くと、より清潔に保てます。

シャッターが重くなってきたが…

入居して13年、シャッターの上げ下げが重くなってきました。軽くするにはどうしたらよいでしょうか。

シャッターが重くなったときは、ガイドレールにシリコン系潤滑剤をスプレーしてください。

下の図で示すように、スラットの左右にはガイドレール(溝)があります。ここに潤滑剤をスプレーしておけば、スラットが通過するたびに潤滑剤がシャッターボックス内のレールにも行き



左右のガイドレールと、ロック部に潤滑剤をスプレーする。

渡ります。何回か上げ下げするうちに、スムーズに動くようになるでしょう。ガイドレールに潤滑剤を塗るときは、ロック部にもスプレーしておいてください。鍵の開閉もスムーズになります。

シェードのはずし方は…

窓に付いているシェードを洗濯したいのですが、外し方がわかりません。

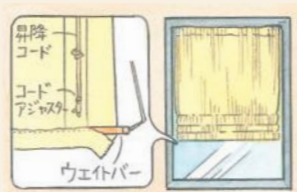
上に折りたたみながら開けていく「シェード」の外し方を紹介します。

まず、下まで下ろした状態で、下部の「ウェイトバー」を抜き取り、さらに「昇降コード」も取り外します。あとは、ヘッドレールにマジックテープで留められている布地をはがせばOK。なお、布地を外した後は、コード

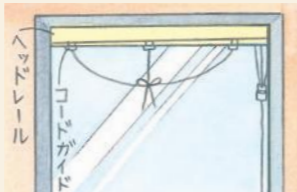
がコードガイドから抜けないよう、束ねて結んでおいてください。

シェードの洗濯方法は、ふつうのカートンと同じ。まず「洗濯ラベル」で素材と洗濯方法を

確認します。洗濯機マークが付いていれば、洗濯機の「最大水量」「弱水流」を選び、合成洗剤で洗います。手洗いマークが付いていたら、おしゃれ着用の洗剤



操作コード側から「ウェイトバー」を抜き取り、「昇降コード」も外してから布をはがします。



コードがコードガイドから抜けてしまうと取り付けが困難になるため、必ず束ねておきます。

でやさしく押し洗いしてください。

なお、目立たなくても布の表面には意外に多くのホコリが付いています。軽く落とすから洗うようにしましょう。

サッシレールの掃除法は…

窓のサッシのレールに砂ホコリなどがたまっていると、掃除機をかけても雑巾でふいてもきれいになりません。よいお手入れ法はありませんか。

最初からぬらした雑巾でふいたり水を流すと、砂ホコリを固めてしまい、かえって取りにくくなります。水ぶきの前に、こびりついたホコリを取るポイント。

まず、サッシ用ブラシか歯ブラシなどでレールの隅にこびりついたホコリをかき出し、掃除機の細口ノズルで吸い取ります。

掃除機で取りきれなかったホコリは、先端を削った割り箸に湿らせたボロ布を巻き付けてふき取ります。落ちにくいようなら、住まいの洗剤を付けてふいてください。その後、水ぶきすればきれいになります。

仕上げに、ふき取り不要のカーワックスを薄く塗っておくと、ワックスのコーティング効果で汚れが付きにくくなります。



サッシ用ブラシはぬらさず、乾いたままでかき出すのがポイント。

フローリングのワックスがけは…

フローリングのワックスがけの仕方をくわしく教えてください。

部屋の使い方にもよりますが、少なくとも3ヶ月、または半年に一度はワックスをかけましょう。ワックスが膜をつくと床の表面を保護するので、キズや汚れがつきにくくなります。

ワックスのかけ方
1 汚れや油分が残っているとワックスがのらないので、まず床面をきれ

いにします。水で薄めた床用のクリーナーまたは住まいの洗剤を雑巾につけ、固く絞って汚れや油分をふき取ります。その後、水ぶきをして洗剤分をしっかりと落とします。

2 床が十分に乾いたら、風通しをよくして、乾いた布またはモップにワックスをつけて床に塗り広げます。

3 15〜30分おいてワックスを完全に乾かしてから、もう一度ワックスを重ね塗りします。部屋の隅などあまり歩かないところは重ね塗りしなくていいでしょう。



ワックスがけの前に、まず床についている汚れをきれいに落とすのがポイント。

〈注意〉使用するワックスについてはP.4を参照してください。